



西南学院大学博物館年報 第4号

ANNUAL REPORT OF SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM No.4

2011





西南学院大学博物館年報 第4号

ANNUAL REPORT OF SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM No.4

2011

 西南学院大学

巻 頭 言

2011年度の大学博物館活動は、例年通り、展示活動と教育活動を中心に行いました。

展示活動としては、春季特別展に「海流に魅せられた島 天草」を開催し、九州のキリスト教シリーズの第3弾として実施しました。本展覧会は船の科学館・海と船の博物館ネットワークからの助成を受けて開催することができました。秋季特別展では「イコナー東西聖像画の世界」を開催しました。この展覧会は大学博物館共同企画シリーズとして実施し、本学博物館と玉川大学教育博物館が所蔵する資料のなかから共通テーマを設定し、特別展を開催するという新しい試みとなりました。

企画展としては、「シーボルト著『日本』にみる近世NIPPON」、「古写真でみる西南学院」part 1を開催しました。春季特別展と秋季特別展の会期の間に開催しました企画展は恒例化してきており、おおくのリピーターに恵まれております。「古写真でみる西南学院」は今後も展開していく事業で、100周年を迎えるにあたって機運を高める企画になればと考えています。

教育活動としては、博物館実習生5名を迎え、2週間に及ぶ実習をおこないました。学芸員の基本業務を経験させるとともに、実習の成果を発表する機会として企画展を開催しています。実習生による企画展は3回目でしたが、年々良くなっている印象を受けています。課題を与えることにより、積極的に実習に取り組む姿勢がみられますが、実習の内容や方法が改善されていることの反映であれば幸いです。

また、せいなんこどもワークショップも開催し、近隣の小学生が参加することによって本学博物館の活動の理解を深めてもらえたと思います。また、特別展と関連しておこなったことで、特別展内容の理解の一助となったのではないのでしょうか。

研究活動として、本年度から「大学博物館における高度専門学芸員養成事業」が学内GPで採択されました。日本をはじめ中国、韓国の大学博物館および学芸員事情を調査するなかで、本学博物館のあり方を考える事業です。1年目は東日本の大学博物館の調査をおこないました。

刊行物としても図録はもとより、年報、博物館ニュース、こどもパンフレットなどを作成しました。また、本年度ワークショップで利用する船のペーパークラフトも作成しました。イベント終了後もペーパークラフトを求める来館者があるなど好評を博しました。

本誌を通じて、2011年度の実施報告をさせていただきました。ご高覧いただいたうえで忌憚ないご意見賜れば幸いです。今後とも博物館運営にご理解、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

2012年9月30日

西南学院大学博物館
館長 高倉 洋彰

目 次

巻頭言	3
2011年度事業報告	
1. 展示活動	
春季特別展「九州のキリスト教シリーズⅢ 海流に魅せられた島 天草 —祈りの原点とキリシタン文化—」実施報告	5
秋季特別展 大学博物館共同企画シリーズⅠ「イコン —東西聖像画の世界—」実施報告.....	10
企画展 シーボルト著「日本」にみる近世NIPPON～年中行事 実施報告	15
企画展 古写真でみる西南学院 part 1 実施報告	16
2. 教育活動	
博物館実習	17
2011年度 せいなんこどもワークショップ概要	23
2011年度 博物館教職員活動記録	25
博物館刊行物・成果物.....	27
博物館講堂使用状況	31
3. 調査・研究	32
4. 来館者動向	
来館者統計	35
特別展期間中来館者動向	36
来館団体一覧.....	41
5. 広報活動	43
2011年度 寄贈・購入図書一覧.....	44
西南学院大学博物館職員	46

2011年度事業報告

1. 展示活動

春季特別展

「九州のキリスト教シリーズⅢ 海流に魅せられた島 天草

—祈りの原点とキリシタン文化— 実施報告



会期：2011年6月6日（月）～7月13日（水）

会場：西南学院大学博物館特別展室 二階講堂

主催：西南学院大学博物館

協力：天草市立天草キリシタン館 船の科学館・海と船の博物館ネットワーク

第9回特別展関連公開講演会

期日 2011年11月5日（土）

時間 14：00～16：00

会場 大学博物館2階講堂

講師 安高啓明氏（本学博物館学芸員）「海流に魅せられた島 天草」

中山 圭氏（天草市教育委員会学芸員）「海の領主天草五人衆と関連遺跡出土陶磁器」

松本 博幸氏（天草市立天草キリシタン館学芸員）「天草とキリスト教」

シンポジウム 司会 高倉洋彰氏（本学博物館長）／パネリスト 安高啓明氏、中山至氏、松本博幸氏

九州のキリスト教シリーズⅢ 「海流に魅せられた島 天草 ―祈りの原点とキリシタン文化―」

開催趣旨と概要

本展覧会「海流に魅せられた島 天草―祈りの原点とキリシタン文化―」は、海で囲まれた天草島においてどのような文化が形成されており、ここで生活が営まれていたのか。さらに島国ゆえにどのような信仰が行われていたのか、歴史的背景をもとに当時の天草島の文化受容の一側面を紹介するものである。

天草は中世から大陸と交流しており、多くの文物が行き交っていた。今日発掘されている中国産陶磁器などはこれに代表されようが、天草はアジアの物流の一拠点ともなっていた。また、天草にキリスト教が伝わったのは1566（永禄9）年で、伝道したのはアルメイダ神父である。これを受けてキリスト教関連施設が造られ、天草のコレジオでは天草本といわれる多くの書物が刊行されている。天正遣欧使節が海をわたって持ち込んだ活版印刷の技術が天草の地で活用されていたのである。

この一方で、幕府の宗教政策に左右されることにもなった。幕府による禁教政策は多くの天草のキリシタンを苦しめ、この反動が天草四郎時貞率いる「島原・天草の乱」の勃発へとつながった。乱の終結により、さらに厳しい監視下に置かれることになるが、ひそかに信仰を守った人たちの姿が天草にはあった。

このように天草島は海外との交易の窓口を担う中で、島国特有の文化を形成し、さらにキリスト教文化も取り入れていた。天草の地にはコレジオが設けられ、キリスト教伝道のための書籍が刊行されている。「九州のキリスト教シリーズ」で取り上げた、島原、大分とは異なる様相を提示できればと考えている。

展示構成と展示風景

I. 海流融合の地 天草

天草の地名は「続日本紀」の記載で確認されるなど古くから固有の“島”として認識されていた。それは海外との交易が盛んにおこなわれていたことも大きい。多くの古地図でも天草の所在は記されており、九州を構成するひとつの島として把握されていたのである。なかには中国人が作成した地図にも天草を確認することができるなど、日本にとどまらず、アジア圏でも周知されていたのである。

展示構想と手法

この章では海外交流のなかで躍動した天草を紹介するために、その象徴的なものである南蛮船の展示をおこなった。南蛮船の訪れは本特別展の骨子となるものであるため、入り口手前に展示、会場入り口には天保国絵図を引き伸ばして来館者に天草への理解とインパクトを与えるものとした。



II. 天草島と文化の芽生え

天草は1566年のキリスト教伝道により、イエズス会から布教の一拠点として位置づけられた。アルメイダ神父が訪れたことでコレジオが設けられ、天草学林では多くの出版物が刊行された。こうしたこともあり、多くの島民にキリスト教は受け入れられていった。天草の人々は、信仰のあり方を見出すとともに、これまでにない新しい意匠を生み出していったのであった。

展示構想と手法

天草にキリスト教を伝えたアルメイダ神父の肖像画を最初に提示し、キリスト教が広まる過程がわかる資料を展示した。信仰を反映するメダリオン(天草市指定文化財)はLED付きの単体ケースに入れ、裏面もみることができるように鏡付の演示台に置いた。



III. 弾圧とその果てに～天草四郎と島原・天草の乱

天草島にも広く浸透していたキリスト教も、幕府の宗教政策の影響をうけることになる、特に天草島民も参加した島原・天草の乱によって、キリシタンたちの処遇は一変する。宗門改や絵踏などが徹底されるなど、表立ってキリスト教を信仰することは厳しく禁じられることになった。こうしたなかでも島民の一部はひそかに信仰を固持し、教えを守り続ける姿がここにあった。

III-1 天草四郎と島原・天草の乱

天草四郎時貞を首領として起こった島原・天草の乱は、一揆軍が本渡で三宅藤兵衛を討ち取るなどの成果を挙げたものの富岡城の攻略に失敗すると、島原半島の原城に拠点を移すことになる。キリスト教を信仰の拠り所に籠城した一揆軍は、幕府軍に激しく抵抗するも、1638(寛永15)年2月末に鎮圧されることになる。この間、原城では幕府軍、一揆軍の多くの血が流れた。

III-2 弾圧と信仰のはざま

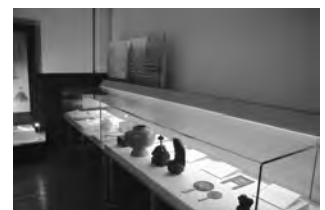
島原・天草の乱が終結し幕府の国是として明確になった禁教政策により、各地でいっそう厳しい弾圧が展開されていくことになる。天草島でも初代天草代官である鈴木重成のもと、キリシタン弾圧がおこなわれていく。また絵踏の実施や宗門人別改帳の作成など、天草の地でも徹底した取り調べがおこなわれることになった。

III-3 島の信仰

キリスト教がアルメイダ神父によりもたらされてから、キリスト教は天草島民の中でも深く浸透していた。一度萌芽した信仰心は簡単には失うことはなかった。幕府による禁教政策のなかでも様々なものを隠れ蓑にして信仰していた。この形態も地域によって異なっており、“納戸神”として祀っていることもあれば、大黒天などを秘匿な信仰の拠り所としていた。

展示構想と手法

本展覧会のメインとなる本章では補足説明のパネルを制作した。島原・天草一揆で使用され



た武器が描かれた絵画を同じ場所に展示することで、リアリティーを持たせる展示とした。また、実際に島原・天草一揆に参加した人数を記した古文書を近くに陳列して全体的な流れと本質が伝わるようにした。なお、信仰の様子を伝えるもののなかの一部を露出展示して原物の資料を間近でみる事ができる空間を作った。

IV. 海外交流の地天草

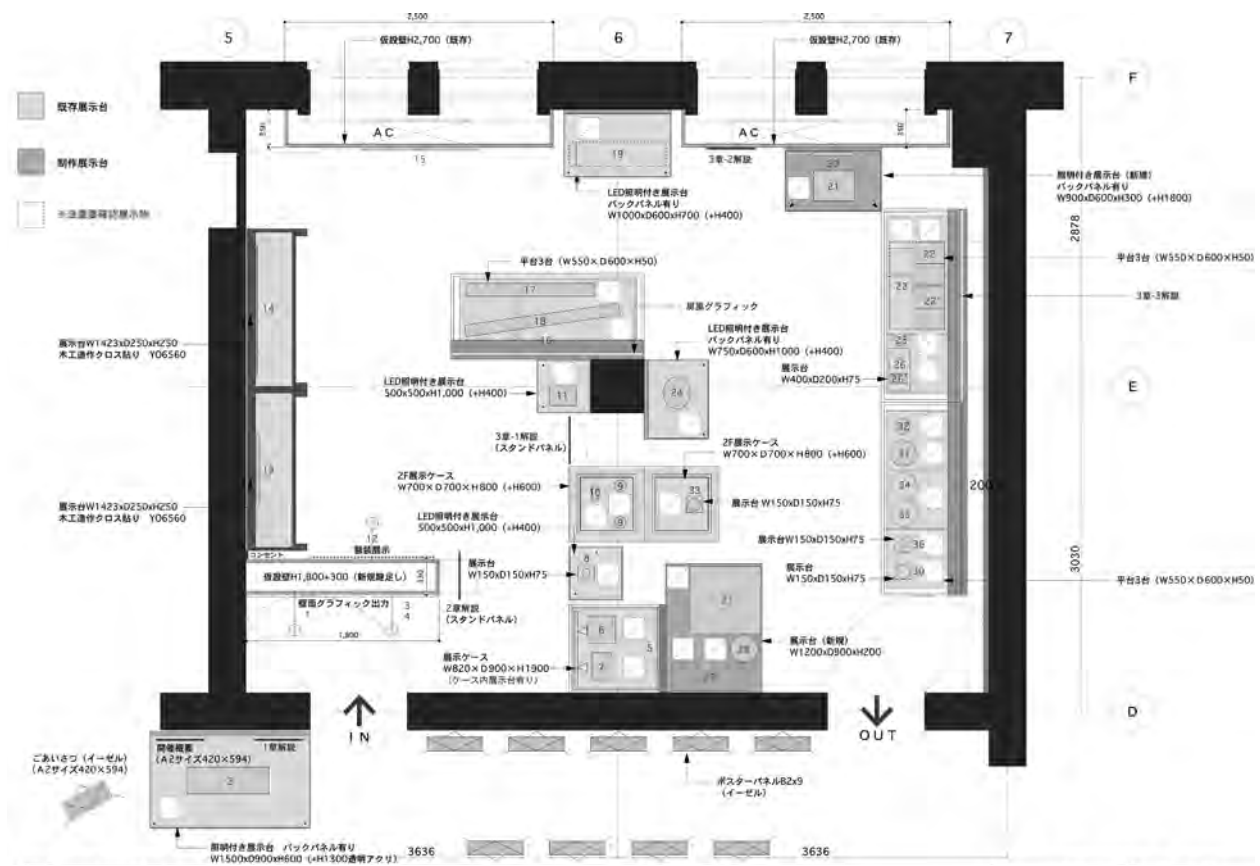
天草の地には古くから多くの文物が行き交っていた。今日の発掘成果からみても中国の白磁や青磁を中心に、ベトナムの青花などもある。中世天草の地でどのような交流がおこなわれていたのか、発掘遺物からその姿を明らかにする。

展示構想と手法

海外交流が盛んに行なわれていた天草を伝えるために、発掘遺物のなかから中世天草を伝える遺物を展示した。四つの遺跡から出土されたものから天草と大陸の関係性がわかるように写真パネルを用いながら説明した。



展示室平面レイアウト



※ 図中番号は出品目録の資料番号に相当する。

2011年度春季特別展 海流に魅せられた島 天草一祈りの原点とキリシタン文化ー 出品目録

I. 海流融合の地 天草

資料番号	資料名	数量	法 量	所蔵先	備 考	
1	天保国絵図	Map of the Tenpo period	1	—	国立公文書館	画像展示
2	南蛮船(帆船)	Portuguese (Namban) Ship	1	H58×W76×D25	天草市立天草キリシタン館	
3	登壇必究	Toudanhikkyu	1	—	九州大学附属図書館付設記録資料館	画像展示
4	武備志	Bubishi	1	—	九州大学附属図書館付設記録資料館	画像展示

II. 天草島と文化の芽生え

資料番号	資料名	数量	法 量	所蔵先	備 考	
5	アルメイダ像デッサン	Sketch of Luis de Almeida	1	H76×W60×D2	天草市立天草キリシタン館	画像展示
6	天草本 伊曾保物語	Aesop's Fables	1	H4×W26×D26	天草市立天草キリシタン館	
7	天草本 平家物語(複製本)	The Tale of the Heike	1	H4×W26×D19	天草市立天草キリシタン館	
8	メダル(メダリオン)	Medallion	1	H9×W7×D0.5	天草市立天草キリシタン館	市指定文化財
9	織部南蛮人燭台	Candlesticks	1対	H32×W11×D11	天草市立天草キリシタン館	
10	キリシタン鋏	Christian scissors	1	H15×W5×D0.5	天草市立天草キリシタン館	

III. 弾圧とその果てに

III-1. 天草四郎と島原・天草の乱

資料番号	資料名	数量	法 量	所蔵先	備 考	
11	破提字子	Hadeus	1	H25×W18×D1	天草市立天草キリシタン館	
12	天草四郎原画 祈り	Portrait of AMAKUSA Shiro	1	H140×W115×D8	天草市立天草キリシタン館	
13	肥後甘草富岡城図	Map of Tomioka Castle	1	H53×W64×D3	天草市立天草キリシタン館	
14	有馬原城落城図	Map of Hara Castle	1	H140×W120	天草市立天草キリシタン館	
15	天草四郎陣中旗	Flag of rebel army	1	H108.6×W108.6	天草市立天草キリシタン館	複製パネル
16	島原陣図屏風(戦闘図)	Rebellion at Shimabara	1	H165.0×W360.0	財団法人秋月郷土館	画像展示
17	天草筒	Amakusa-dutsu [gun barrel]	1	H6×W120×D12	天草市立天草キリシタン館	
18	筑紫薙刀	Chikushi-naginata [Hatchet sword]	2	H3×W145×D11	天草市立天草キリシタン館	
19	天草・島原の乱手負討死一件	Records of Amakusa-Shimabara Rebellion	1	H340×W22	天草市立天草キリシタン館	

III-2. 弾圧と信仰のはざま

資料番号	資料名	数量	法 量	所蔵先	備 考	
20	鈴木三公肖像画	Triangle of portraits of Suzuki	1	H150×W38×D3	天草市立天草キリシタン館	
21	破切支丹(全)	Hakirishitan	1	H28×W38×D3	天草市立天草キリシタン館	
22	宗門人別改帳	Documents with the name of apostates	2	H2×W20×D27	天草市立天草キリシタン館	
23	踏絵関係文書	Documents of Fumie	1	—	天草市立天草キリシタン館	

III-3. 島の信仰

資料番号	資料名	数量	法 量	所蔵先	備 考	
24	ロザリオとつぼ	Rosary and pot	5	H16×W30×D25	天草市立天草キリシタン館	市指定文化財
25	切支丹燭台	Christian candlesticks	1	H30×W11	天草市立天草キリシタン館	
26	銭仏 壁仏	Cross of coins / Wall Buddha	2	壁仏H4×W2×D1 銭仏H16×W9×D0.2	天草市立天草キリシタン館	
27	潮隠しクルス	Cross hidden in the tide	1	H28×W63×D66	天草市立天草キリシタン館	
28	聖水鉢	Bowl for holy water	1	H27×W25×D26	天草市立天草キリシタン館	
29	十字入佛石	Image of Buddha carved with cross	1	H70.0×W25.0	天草市立天草キリシタン館	
30	十字架	Cross	1	H5.0×W3.8	天草市立天草キリシタン館	
31	IHS紋入り聖杯	The holy Grail with IHS emblem	1	H23×W24	天草市立天草キリシタン館	
32	隠し十字佛	Image of Buddha carved with cross	1	H44×W15×D12	天草市立天草キリシタン館	
33	鏡仏	Bronze mirror	1	H1.5×W12	天草市立天草キリシタン館	
34	納戸神	The holy mirror enshrined in the altar	1	H29.0×W18.5	天草市立天草キリシタン館	
35	納戸神	The holy mirror enshrined in the altar	1	H33.0×W22.0	天草市立天草キリシタン館	
36	大黒天像	Small statue of Daikokuten	1	H10×W9×D7	天草市立天草キリシタン館	

IV. 海外交流の地天草

IV-1 浜崎遺跡出土遺物

資料番号	資料名	数量	法 量	所蔵先	備 考	
37	福建系白磁	White porcelain of Fujian	1	H14.0×W12.0	天草市教育委員会	
38	同安窯青磁	Celadon of Tong'an	1	H7.8×W9.0	天草市教育委員会	
39	景德鎮系白磁・青白磁	Jingdezhen white porcelain / blue porcelain	2	H9.5×W9.5 H3.0×W4.0	天草市教育委員会	
40	龍泉窯青磁	Celadon of Longquan	1	H13.0×W13.0	天草市教育委員会	

IV-2 棚底城跡出土遺物

資料番号	資料名	数量	法 量	所蔵先	備 考	
41	シ章州系青花	Zhangzhen type Blue-and-white	1	H10.5×W5.5	天草市教育委員会	
42	景德鎮系青花	Jingdezhen type Blue-and-white	1	H9.0×W7.8	天草市教育委員会	
43	景德鎮系青磁	Jingdezhen type celadon	1	H8.0×W4.8	天草市教育委員会	
44	ベトナム産青花	Vietnamese Blue-and-white	1	H6.8×W4.9	天草市教育委員会	

IV-3 河内浦城跡出土遺物

資料番号	資料名	数量	法 量	所蔵先	備 考	
45	ベトナム産鉄絵大盤	Vietnamese underglaze plate with iron brushwork	1	H28.5×W28.5	天草市教育委員会	
46	中国産擂鉢	Chinese earthenware	1	H30.5×W30.5	天草市教育委員会	
47	青磁	Celadon	1	H13.6×W13.3	天草市教育委員会	
48	灰色磁器皿	Gray porcelain dish	1	H8.5×W5.5	天草市教育委員会	

IV-4 三川城跡出土遺物

資料番号	資料名	数量	法 量	所蔵先	備 考	
49	シ章州系青花	Zhangzhen type Blue-and-white	1	H7.0×W9.0	天草市教育委員会	
50	華南三彩角瓶	Color glazed square bottle of southern China	1	H4.5×W2.0	天草市教育委員会	
51	景德鎮系緑地金襴手碗	Jingdezhen type green glazed bowl	1	H2.8×W5.0	天草市教育委員会	

秋季特別展 大学博物館共同企画シリーズⅠ 「イコン—東西聖像画の世界—」実施報告



会期：2011年11月2日（水）～12月10日（土）
 会場：西南学院大学博物館特別展室 二階講堂
 主催：西南学院大学博物館 玉川大学教育博物館

第10回特別展関連公開講演会

期日 2011年11月5日（土）
 時間 14：00～16：00
 会場 大学博物館2階講堂
 講師 安高啓明氏（本学博物館学芸員）
 「大学博物館の役割と西南学院大学のイコン」
 柿崎博孝氏（玉川大学教育博物館准教授）
 「イコンの美と魅力—玉川大学のコレクションから—」

大学博物館共同企画シリーズI 「アイコン —東西聖像画の世界—」

シリーズ趣旨

各大学は様々な学術情報、知的財産を有している。これからの大学は、地域社会と連携していくなかで、あらゆる情報発信をしていくことが求められている。そうしたなかで、「社会に開かれた大学」の窓口のひとつである大学博物館の取り組みを通じて、研究成果の公開がおこなわれている。

大学博物館は“知の拠点”として、大学における調査研究の成果を公表し、発信している。これまで本学博物館でもキリスト教をテーマとした特別展を開催し、関連して講演会などをおこなってきた。本シリーズは大学の垣根を越えて、ふたつの大学博物館が連携することで新しい知識（+a）を創出し、質の高い展覧会（学び場）を提供することを目的としている。

本展覧会開催により、大学博物館同士の相互理解はもちろん、成果や情報の共有化を通じて、大学博物館の機能向上を図るものとする。また、“大学博物館ネットワーク”の構築を目指していき、大学博物館の取組みの新しいモデルケースとなるよう、今後シリーズ化して展開していく。

開催趣旨と概要

ギリシャ語で「像・姿」を意味するアイコン（ICON）。アイコンは礼拝用画像であるとともに美術作品としても高い評価をうけている。また、アイコンの製作意図も「見えるものを通じて、見えないもの（神的世界）へと人びとを導くもの」であるため、各国の信仰形態や習慣も色濃く反映されている。

本展覧会は、玉川大学教育博物館から協力を得て、ロシアやギリシャ、イタリアのアイコンを借用し、展示した。また、本学博物館が所蔵するフィリピンやエチオピアなどのアイコンとあわせて展示することにより、アイコンのとらえかたや宗教観を示すことができるものとなった。

キリスト教の伝播過程や受け入れ態勢が異なるなか、各国が抱える歴史的背景も様々である。こうしたなかで作られたアイコンには様々な要素が含まれている。

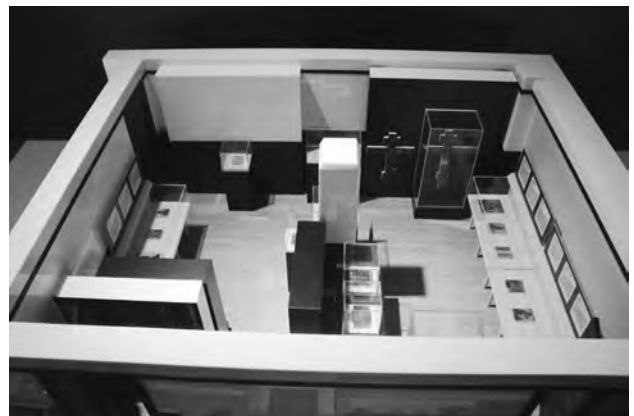
できる限り多くの地域の作品を集め、多角的に聖像画に込められた想いや作風などの違いを感じていただける機会になればと考えている。

展示構成と展示風景

導入

展示構想と手法

会場入口に展覧会場の1/30の縮小模型を展示した。会場に入る前に大まかな展示品の配置と雰囲気をつかんでもらえるように配慮した。また、ギャラリートークの際も冒頭の説明で利用することができるなど一定の効果がみられた。



I. 玉川大学教育博物館所蔵イコン

玉川大学教育博物館が所蔵するイコンのなかから、ロシアを中心にギリシャ、イタリアの聖像画を紹介する。玉川大学のイコンコレクションは、東方正教会圏で敬拝されたイコンで構成されている。イコンは同じ主題であっても時代や国により描き方、とらえられかたに違いがある。一枚のイコンに込められた宗教観を見出していく。

展示構想と手法

会場入口に外光をより遮るための仮設壁を設置し、ここにポスター画像を引き延ばした。展示室内は照明をできるだけおとし、資料保護に努めるとともに、荘厳な雰囲気を作るようにした。メインの資料を会場奥に置いて、導線の確保と裏面を見せるために原寸大の裏面パネルを設置した。



II. 西南学院大学博物館所蔵イコン

西南学院大学博物館が所蔵するイコンは、フィリピンやエチオピアなどの国々で製作されたもので構成される。西洋からキリスト教がもたらされると、これがアジアやアフリカ圏にどのように受け入れられていったのか。同じ主題からその共通点や相違点を探り、非西欧圏におけるキリスト教の受容のあり方を紹介する。

展示構想と手法

西欧圏のイコンとは性格や画風も異なる非西欧圏のイコンを一見してわかるように、同じ画題の資料を近くに配置した。また、関連する資料の壁面展示と平置き展示を有効に使い、立体感のある展示空間になるように配慮した。



Ⅲ. 玉川大学教育博物館と西南学院大学博物館の取り組み

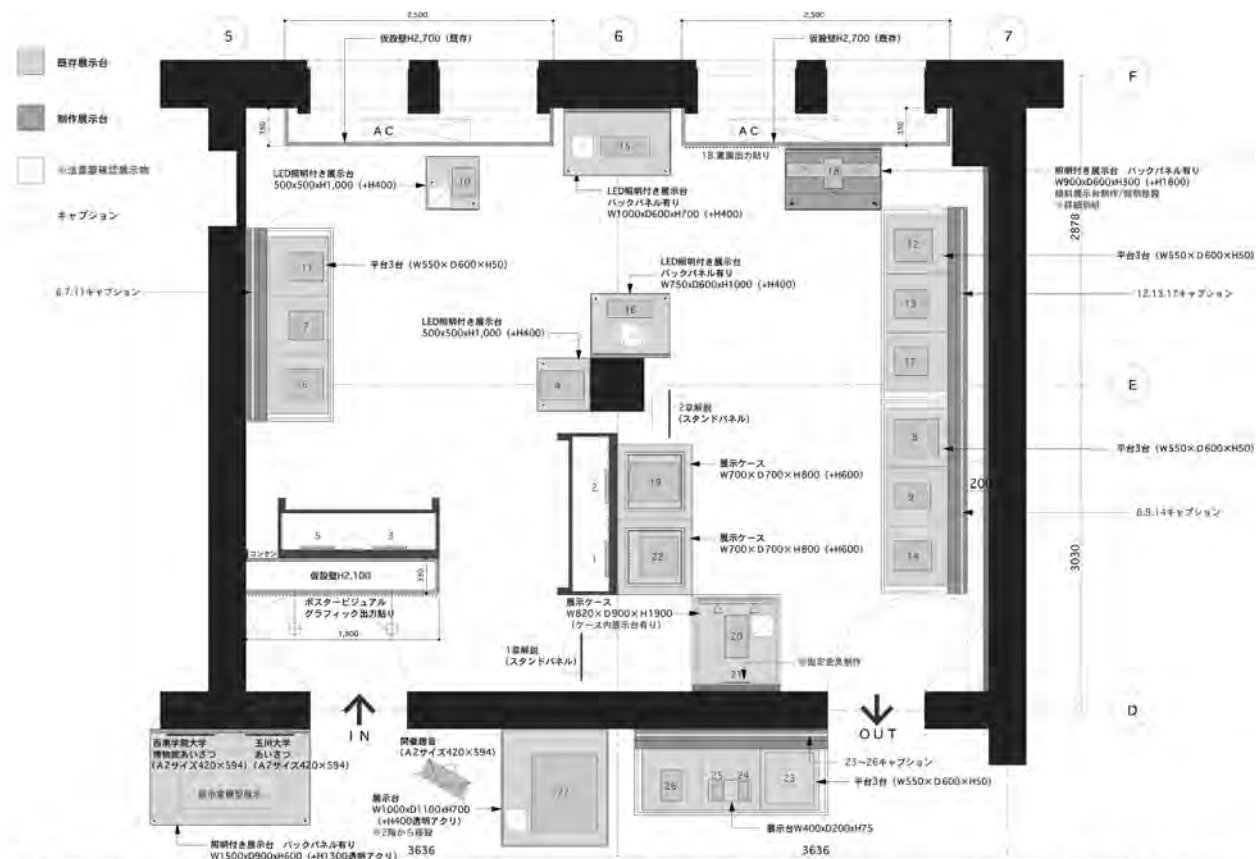
玉川大学教育博物館と西南学院大学博物館は大学附属機関として、「社会へ開かれた大学」を具現化すべく様々な企画を実施している。特別展や企画展、公開講演会はもとより、刊行物出版や博物館実習の場としても利用されている。ここではこれまで行われてきた大学博物館の取り組みを紹介する。

展示構想と手法

大学博物館の取り組みは多くの人に知られているとはいえない。そこで、本学博物館と玉川大学教育博物館の沿革、展示説明、活動報告などをパネルで紹介していった。



展示室平面レイアウト



※ 図中番号は出品目録の資料番号に相当する。

2011年度秋季特別展 イコンー東西聖像画の世界ー 出品目録

資料番号	資料名	英訳	時代	製作国	法量	所蔵先
1	聖三位一体	The Old Testament Trinity	16世紀	ロシア	33.0×28.2cm	玉川大学教育博物館
2	聖母マリヤの誕生	Brith of Virgin	1810~50年頃	ロシア	30.7×26.3cm	玉川大学教育博物館
3	イエス・キリストの神殿奉獻	Presentation in the Temple	1800年頃	ロシア	31.1×26.1cm	玉川大学教育博物館
4	イエス・キリストの洗礼	Baptism of Christ	18世紀	ギリシア	41.4×27.3cm	玉川大学教育博物館
5	マンディリオン(聖顔布)	Mandylion	1600年頃	ロシア	32.0×27.0cm	玉川大学教育博物館
6	怒りのキリスト	Christ in anger	18世紀	ロシア	35.6×28.0cm	玉川大学教育博物館
7	十字架上のキリスト	Crucifixion	18~19世紀	ロシア	33.1×26.7cm	玉川大学教育博物館
8	キリストの復活 (キリストの黄泉降り)	Resurrection of Christ	17世紀	ギリシア	41.3×35.0cm	玉川大学教育博物館
9	ホディギトリアの聖母子	Virgin Hodigitria with Child	1700年頃	ギリシア	34.0×22.6cm	玉川大学教育博物館
10	聖母子(ホディギトリア型)	Virgin Hodigitria with Child	18世紀	イタリア	27.0×22.0cm	玉川大学教育博物館
11	荘厳の聖母マリヤ (ティヒビンの聖母)	Virgin Hodigitria with Child(Tichvin)	1800年頃	ロシア	31.0×26.5cm	玉川大学教育博物館
12	三本手(トリケルーサ)の 聖母	Virgin with Three Hands "Tricheiroussa" with Child	1820~60年頃	ロシア	35.2×30.8cm	玉川大学教育博物館
13	戴冠の聖母マリア	Coronation of the Virgin	18世紀	ロシア	31.5×26.5cm	玉川大学教育博物館
14	聖母子(エレウーサ型)	Virgin Eleoussa with Child	18世紀	ギリシア	35.2×28.0cm	玉川大学教育博物館
15	聖母マリヤ 3連イコン	Virgin	18世紀	ロシア	18.4×46.0cm	玉川大学教育博物館
16	聖母マリヤ・キリスト・ 授洗者ヨハネ 3枚折イコン	Virgin, Christ Pantokrator, St. John the Baptist	1700年頃	ロシア	16.5×42.0cm	玉川大学教育博物館
17	祝祭のイコン	Festive Icon	1800年頃	ロシア	31.3×27.0cm	玉川大学教育博物館
18	十字架イコン	Crucifixion	1800年頃	ロシア	117.0×87.5cm	玉川大学教育博物館
19	三位一体	Old Testament Trinity	19世紀	フィリピン	45.5×35cm	西南学院大学博物館
20	聖母子	Virgin with Child	19世紀	フィリピン	39.5×21.5cm	西南学院大学博物館
21	救済の聖母子	Redeeminf Virgin and Child	19世紀	フィリピン	31×24.5cm	西南学院大学博物館
22	農民聖イシドロ	Farmar St.Ishidro	19世紀	フィリピン	35.2×37.0cm	西南学院大学博物館
23	聖母子・諸聖人・ 磔刑・冥府降下	Virgin and Child, Saints, Crucifixion, Resurrection	19世紀~20世紀	エチオピア	35.7×49.8cm	西南学院大学博物館
24	磔刑	Crucifixion	19世紀	エチオピア	16.7×10.0cm	西南学院大学博物館
25	聖ペトロと聖パウロ	St.Peter and St.Paul	19世紀	エチオピア	17.0×10.6cm	西南学院大学博物館
26	聖バスカリスへの奉納画	Decicated Image to St. Paschalis	1927年	メキシコ	28.4×19.5cm	西南学院大学博物館
27	受胎告知と ルーマニア十聖図	Annunciation and Rumanian Ten Holy Figures	19世紀~20世紀	ルーマニア	71.3×61.9cm	西南学院大学博物館

企画展

シーボルト著「日本」にみる近世NIPPON～年中行事 実施報告

開催概要

ドイツ人医師であるフィリップ＝フォン＝シーボルト(1796-1866)は、長崎出島にあるオランダ商館の商館医員に任命され、1823(文政6)年7月6日に長崎に赴任してきた。長崎滞在中は多くの門人を抱え、出張診察のほか、臨床講義をおこない、長崎郊外に鳴滝塾を開いた。また、シーボルトは医者としての任務のほかに、オランダ政府から日本の総合的科学的調査の任務を与えられていた。

シーボルトは自らも研究に打ち込み、1826(文政9)年正月には、新任商館長の江戸参府同伴のために長崎を出発する。このときに動向したのが、挿絵として多くの風景を残した川原慶賀である。川原慶賀は要望に応えるように多くの写実をおこなった。シーボルトは博物学者としても知られているが、そこには“シーボルトの目”として活動していた川原慶賀のはたらきがあったのである。

博物学者シーボルトの日本研究の集大成が「NIPPON」として紹介される。正式邦訳は『ニッポン。日本とその隣国および保護国、南千島をふくむエゾ・カラフト・朝鮮および琉球諸島の記述集』である。日本とその近隣を地理・歴史・宗教・考古学等の分野にわたり紹介したもので、ここには多くの図録も含まれている。

本展覧会は、シーボルト著「日本」のなかから日本の年中行事を紹介していく。

会期：2011年7月15日(金)～10月22日(土)

会場：大学博物館特別展室前廊下～2階講堂



企画展 古写真でみる西南学院 part 1 実施報告

開催概要

西南学院は2016年に創立100周年を迎える。本企画展は、過去の記録写真を紐解くことで、西南学院が歩んできた事績を紹介していくものである。

1916年、創立者C. K. ドージャーにより、福岡市大名町（現・中央区赤坂）に旧制男子中学校の「私立西南学院」が開設される。1918年、「中学西南学院」と改称して早良郡（現・福岡市）西新町に校地を取得し移転、1921年には西南学院本館が竣工する。こうして、西南学院は今日まで脈々と西新地区に息づいている。

旧西南学院本館の建物である大学博物館（ドージャー記念館）は、西南学院の現存する建物のなかで一番古い建物である。それゆえ、西南学院の足跡を直に感じることができる。W. M. ヴォーリス設計の赤レンガ造りは福岡市指定有形文化財でもある。西南学院の誇りであり礎ともいえる大学博物館は、文化財としても評価されている。

我々にとっても身近な存在である西南学院大学博物館は2006年5月に開館した。西南学院旧本館からの系譜をもつ建物の変遷を、本企画展を通じて、再認識していただければと思っている。また、今日まで学兄たちが培ってきた、学院の息吹を感じてもらえればと考えている。

結びとなりましたが、ご覧いただきました関係各位に、100周年に向けての飛躍となるきっかけになれば幸いです。

会期：2011年12月13日（火）～2012年5月24日（木）

会場：大学博物館特別展室前廊下～2階講堂



2. 教育活動

博物館実習

実習概要

2011年度の博物館実習は基礎実習として8月2日（火）から8月9日（火）まで、実践実習を8月25日（木）から8月31日（水）までおこなった。

基礎実習では学芸員としての心構えを教えたうえで、資料台帳や調書の作成をおこなった。いかに的確かつ丁寧に台帳や調書を作成することが必要なのか理解させた。またカメラの使い方では、一眼レフカメラを使ったことのない学生が多く、持ち方、構え方から指導した。刊行物の作成にあたっては、博物館ニュースや図録、年報などの種別や目的を紹介するとともに、実際に博物館ニュースの一頁を担当させて、レイアウトや構成、文章作成をおこなった。業者とのやり取りを含めて、実際の刊行過程を踏まえさせた。

基礎実習中の一日は、日本通運長崎支店から美術作業員を派遣してもらい梱包実習をおこなった。絵画や陶器の梱包の仕方をビデオで見た後、直接各人で実践していった。美術品を取り扱う専門の業者からの講習はとても参考になったようだった。

実践実習は、基礎実習の内容を修得したことを前提として、学生自身による企画を形にしていく実習成果展示をおこなった。本年度は「西南大事“展”」という、西南学院の歴史をひも解く展覧会の企画立案を受けて、ポスターやパネルの作成をおこなった。展示する資料にともなう陳列するケースの選定、さらに照明の当て方まで検討させた。誰を対象とした展覧会なのかという視点を常にもたせ、本学学生らしさを残しながらの完成を目指した。

この展覧会は9月2日（金）から10月14日（金）まで、本学博物館の特別展室にて開催し、多くの学院関係者、本学学生の来館者があった。会期終了後、会場の撤去まで学生主体におこなった。なお、実践実習期間には九州大学総合研究博物館と九州産業大学美術館を訪問させていただき、大学博物館の活動内容の理解と、地域博物館との違いなどを考えさせる機会とした。

2011年度博物館実習生

森友紀（法学部法律学科）／千原瑤子（法学部法律学科）／大丸葉子（商学部商学科）／内田成美（国際文化学部国際文化学科）／吉松由希（国際文化学部国際文化学科）



博物館実習カリキュラム

博物館実習(基礎実習):前期

	8/2(火)	8/3(水)	8/4(木)	8/5(金)	8/6(土)	8/9(火)						
午前	9:45	博物館集合	9:45	準備	9:45	準備	9:45	準備				
	9:50	オリエンテーション	9:50	資料梱包と輸送	9:50	企画展の作り方と教育PG	9:50	展示レイアウト作業④	9:50	刊行物作成実践③		
	10:30		11:00		11:00		11:00		11:00			
	10:35	館内施設見学	11:05	調書作成実習①	11:05	美専車と輸送	11:05	企画書作成実習①	11:05		展示レイアウト作業⑤	11:05
	12:00		12:00		12:00		12:00		12:00		11:35	
昼 食												
午後	13:00	博物館活動と資料目録	13:00	調書作成実習②	13:00	資料梱包実習①	13:00	企画書作成実習②	13:00	発表、討論	13:00	企画展を考える
	13:40		13:40		14:30		13:30		14:30		13:40	
	13:55	目録作成実習①	13:50	カメラの使い方(図録、目録、調書)	14:40	資料梱包実習②	13:40	展示レイアウト作成①	14:40	刊行物について	13:55	企画展作業①
	14:25		16:00		15:10		15:10		15:40		14:25	
	14:30	目録作成実習②	16:10	資料取扱いと展示	15:15	資料梱包実習③ / 展示実践①	15:20	展示レイアウト作成②	15:50	刊行物作成実践①	14:30	企画展作業②
	17:30		17:00		17:00		16:50		16:50		17:30	
	17:35	実習日誌作成	17:10	資料梱包と展示予備実習	17:10	展示実践②	17:00	展示レイアウト作成③	17:00	刊行物作成実践②	17:35	企画展作業③
	18:00		18:00		18:00		18:00		18:00		18:00	
	18:00	戸締り・点検	実習日誌作成	実習日誌作成	18:00	実習日誌作成	18:00	実習日誌作成	18:00	実習日誌作成	18:00	実習日誌作成
18:20	18:20				18:20		18:20		18:20		18:20	
担当教員・学芸員	高倉洋彰・安高啓明		安高啓明		安高啓明		安高啓明		安高啓明		安高啓明	
学芸員補助	中尾祐太		中尾祐太		中尾祐太		中尾祐太		中尾祐太		中尾祐太	

博物館実習(実践実習):後期

	8/25(木)	8/26(金)	8/27(土)	8/29(月)	8/30(火)	8/31(水)						
午前	9:45	準備	9:45	準備	9:45	準備	9:45	準備				
	9:50	企画展作業④	9:50	WS実習	9:50	企画展作業⑤	9:50	企画展作業⑮	9:50	展示作業①		
	11:00		11:00		11:00		11:00		11:00			
	11:05		11:05		11:05		11:05		11:05			
	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00				
昼 食												
午後	13:00	企画展作業⑤	13:00	企画展作業⑩	13:00	企画展作業⑪	13:00	企画展作業⑯	12:30	館外実習(九産大美術館)	13:00	展示作業②
	13:40		13:40		13:40		13:40		13:40		13:40	
	13:55	企画展作業⑥	13:55	WS事前準備	13:55	企画展作業⑫	13:55	企画展作業⑰	13:55	館外実習(九産大美術館)	13:55	展示作業③
	14:25		14:25		14:25		14:25		14:25		14:25	
	14:30	企画展作業⑦	14:30	WS事前準備	14:30	企画展作業⑬	14:30	企画展作業⑱	15:30	館外実習(九州大学総合博物館)	14:30	展示作業④
	17:30		17:30		17:30		17:30		17:30		17:30	
	17:35	企画展作業⑧	17:35	WS事前準備	17:35	企画展作業⑭	17:35	企画展作業⑲	17:35	館外実習(九州大学総合博物館)	17:35	オリエンテーション
	18:00		18:00		18:00		18:00		18:00		18:00	
	18:00	実習日誌	実習日誌	実習日誌	18:00	実習日誌	18:00	実習日誌	18:00	実習日誌	18:00	実習日誌
18:20	18:20				18:20		18:20		18:20		18:20	
担当教員・学芸員	安高啓明		安高啓明		安高啓明		安高啓明		安高啓明		安高啓明	
学芸員補助	中尾祐太		中尾祐太		中尾祐太		中尾祐太		中尾祐太		中尾祐太	

*学芸員補助は博物館臨時職員・本学大学院国際文化研究科

特別展企画書

氏名 大丸 葉子

- 〈タイトル〉朝日
 〈会 期〉7～10月
 〈料 金〉大人・800円 小人・500円
 〈主 催〉西南学院大学博物館
 〈共 催〉朝日新聞、テレビ朝日
 〈開催概要〉一日の始まりである朝をテーマに、夏休みの不規則な生活に慣れてしまった学生を対象にして、朝に早起きすることによって見られる朝日の素晴らしさを体感し、早起きするきっかけになればと思い企画しました。また、日本を代表とする富士山にもスポットをあて、富士山からみられる朝日や、富士講という富士山を信仰する風習にも目を向けました。そして、第三章で展示する予定の世界の日の出というテーマでは、今まで見てきた日本の日の出の色づかいや宗教観による日の出の考え方の違いも説明できればと思います。
- 〈資 料〉印象-日の出（油絵・画布、48.0×63.0、クロード・モネ）
 東海道五十三次 日本橋朝の景（木版、25.0×38.0、歌川広重）
 富士講の道具（御身抜入、行衣、マネキ等）
- 〈章 設 定〉第一章：日本の日の出
 第二章：富士山からの日の出と信仰
 第三章：世界の日の出
- 〈イベント〉
 ・食育等の講演
 ・朝日新聞へ見学し、朝刊を配達している方へ早起きの素晴らしさを話していただく
- 〈目 的〉朝早くから起きることの素晴らしさ
 〈意 義〉健康生活への第一歩を踏み出す
 〈対 象〉夏休みの学生

特別展企画書

氏名 内田 成美

- 〈タイトル〉いのりのかたち たしかにそこにいた
 〈会 期〉4月～5月
 〈主 催〉西南学院大学博物館
 〈後 援〉南島原市
 〈開催概要〉現在の博物館にある資料には、信仰によって伝えられてきたものが少なからずある。信仰にかかわるものは、本来それを拠とする人と共にあり、博物館にあるということは、大抵信仰の対象となるもの、信仰を助けるものとしての第一線にはいないということの意味する。また、そもそも個人的な信仰のすがたは、他者にみせるものではない。博物館という不特定多数の人々にみられるための場合は、それらにふさわしいものなのか。しかし、人がいなくなったとき語るのはものである。本来、他者にみせるものではない。けれども、みられなければ存在しなかったことになってしまう。博物館でみる、みせる、みられることについて感じてほしい。
- 〈資 料〉原城から出土した十字架、メダイおよびロザリオの珠
- 〈章 設 定〉
 I章 だれもいなくなった
 （主に島原を扱う。今、ものがそこにあるのは、それを持っていた人がいなくなってしまったからだということ、死者が最後まで身につけていたもの、その最期をさらしてよいのかということ、しかしみられることによってのみ、ものは語るができるということが伝わるように。）
 II章 からっぽのへや
 （主に現代の信心用具を扱う。他者の信仰のすがたをみるということは、他者の私的領域に踏み込むということだということが伝わるように。また、ものの向こうにいる/いた人間を感じてもらえるように。）
- 〈イベント〉
 ・西南学院大学博物館安高啓明先生による島原・天草の乱後の江戸幕府禁教政策に関する講演会
 ・ギャラリートーク
- 〈目的・意義〉以前、大学の授業で博物館を訪れたが、展示されているものはあくまで単なるモノとして捉えられており、なぜそれがここにあるのか、ここにくるまで、どこにどのような状態であったのか、もともとはどのような意味をもつものであったのか、にはあまり関心を持たれていないように感じた。そこで、この企画展を博物館でみること、みられることの不思議さを感じるきっかけとしてほしい。また、4月に開催することによって学生生活のはじまりに大学博物館に親しむきっかけともしてほしい。

特別展企画書

氏名 千原 瑤子

- 〈タイトル〉スペインの至宝と呼ばれた男
 〈会 期〉7月31日～8月31日(夏休み)
 〈料 金〉大人(大学生)1,000円 小人500円
 小学生以下無料
 〈主 催〉西南学院大学博物館、ラウール・ゴンザレス氏
 〈共 催〉NHK、福岡県教育委員会、福岡県子ども会育成連合会、日本スポーツ新興協会、アディダス、FIFA、JFA、UEFA、ソニー、bwin、スペイン大使館、ドイツ大使館
 〈開催概要〉サッカー元スペイン代表ラウール・ゴンザレス。名門レアル・マドリードでプレーし続け、スペインのそして世界のサッカーの道を切り開いた選手の一人として、今も多くの人を魅了し続けている。スペインの至宝と呼ばれ、なぜこれほど愛されるのか。34歳の現在もお新たな地で飛躍し続ける彼の栄光と挫折の人生にスポットをあてる。普段外で遊んでるサッカー少年達も、ラウールの人生からサッカーの歴史を勉強しよう！
 〈代表的な資料〉・ユース時代(アトレティコ、レアル)のユニフォームやスパイク ・レアル・マドリード時代のユニフォームやスパイク ・スペイン代表時代のユニフォームやスパイク ・シャルケ時代のユニフォームやスパイク ・幼少期の写真
 ・アルトゥーロ・ペレス＝ロベルテの本(愛読書)
 ・ラウール家の復元模型 ※ユニフォームはホーム・アウェーどちらも
 〈章 設 定〉Ⅰ章 ユース時代(幼少期～ユース)
 Ⅱ章 レアル時代(代表も)
 Ⅲ章 現在(レアル退団～シャルケ)
 Ⅳ章 番外編
 〈イベント内容〉・君もスペイン代表！(スペイン代表のユニフォームを着て記念撮影できる) ・フリーキック ※コーナーキックは禁止、ダイビングヘッドも同様 ・ラウール・ゴンザレス氏来日！(開催期間中いずれかにやってくる)
 〈目 的〉・子どもたちにサッカーの歴史を一人の選手を通じて学び、サッカー(スポーツ)により一層の関心を持ってもらう。 ・自分が楽しむ。
 〈対 象〉・サッカー少年・少女(夏休み中の) ・ラウールファン ・そうでもない人々も
 〈意 義〉・世界的に有名な選手を扱うことで、注目度は高く、集客を見込める。また、日本全国だけでなく、海外からの来館が期待できる。 ・運動ばかりしている子ども歴史に興味をもつ(といいな)。 ・サッカーをしない人も関心をもてる(かもしれない)。 イベントを通し、親子の交流が増える。 ・ラウールが好きな人にはたまらない！ ・博物館の知名度があがる。

特別展企画書

氏名 森 友紀

- 〈タイトル〉かえるの歴史展
 〈会 期〉6月～7月(梅雨時期)
 〈料 金〉300円
 〈主 催〉西南学院大学博物館
 〈共 催〉かえる寺(如意輪寺)
 〈開 催〉現在縁起の良いものとして、置き物や絵画のモチーフとなり、色々な場所に飾られているかえるに焦点をあてる。なぜそのように縁起ものと考えられるようになったのか、又、歴史的な作品から現在のかえるのすばらしさをあらためて感じてほしい。
 〈代表的な資料〉・歴史的なかえるの資料、「鳥獣戯画」(東京国立博物館、京都国立博物館) ・如意輪寺のかえるに乗った仏像 ・本物のかえる
 〈章 設 定〉Ⅰ章 かえるの歴史
 (人間とかえるの関係、かえるについて)
 Ⅱ章 かえるを題材にした作品の変化、かえる寺について
 Ⅲ章 かえるのこれから(環境問題)
 〈イベント〉・かえるをつくろう！(かえるの絵を書いてもらって一定期間中集め、来館者の方々に投票してもらいコンテストを開く。優勝者は表彰する。) ・かえるの触れ合い体験(実際に触れ合える会場を設置する(博物館前)) ・かえるのうた合唱(2階チャペル)
 〈目 的〉かえるに対する考え方の歴史的な変化や、人間との関係、捉え方の変化を通して、かえるについての知識を増やしてほしいということ、これからのかえるという視点から、環境問題について考えてもらえたらと思う。
 〈対 象〉子どもからお年寄りまであらゆる世代に
 〈意 義〉かえるが好きな人がより多くのことを学んで満足できることと、あまり好きでない人や興味のない人も、人間とかえるとの歴史的関係を通じ、少しでも興味を持ってもらえるようになる。また、環境問題に対して考えるきっかけになる。

特別展企画書

氏名 吉松 由希

〈タイトル〉展んほえ

〈会 期〉8月1日～9月31日

〈料 金〉大人（大学生）900円 小人500円 小学生

以下無料

〈主 催〉西南学院大学博物館

〈共 催〉NHK

〈開催概要〉誰しもが幼いころに慣れ親しんだ絵本。その内容は教訓的な側面や娯楽的な側面をもち、子どもの情操教育に深く関わってきた。本展示では、室町から現代に至るまでの絵本の系譜を紹介し、その中でも特に江戸、明治の絵本を取り上げて西洋文化の影響をいかに受けたかまで考察する。絵本の通史に触れ、絵本の新たな魅力を発見してほしい。

〈代表的な資料〉・歌川広重『義経一代記 五条ノ橋之図』・竹取物語（奈良絵本）

〈章 設 定〉

I 章 日本の絵本の歴史をたどる－絵画から草双紙まで－

II 章 江戸・明治の草双紙－西洋文化の影響を見る－

III 章 絵本の移り変わり－明治・大正・昭和の時代の中で－

IV 章 いろいろな種類の絵本に触れる

〈イベント〉・世界で一冊！自分だけのオリジナル絵本を作ろう（オリジナルの絵本の作成）・絵本朗読会（2011年福岡県NHK放送コンテストの成績上位者に絵本を朗読してもらう。）・絵本朗読体験（プロのアナウンサーの指導のもと、自分が選んだ本の朗読を行う。）

〈対 象〉小学生中学年からその保護者、および絵本や物語が好きな大人。

〈目 的〉日本の絵本の歴史を通して、日本の文化を学ぶ

〈意 義〉絵本の歴史として、中世から現代まで幅広い時代を取り上げることによって、時代ごとの絵本の特徴や、現在自分が持っている本に至るまでの歴史を知ることができる。また、児童から大人まで広い世代にさまざまな絵本に触れてもらい、情操教育の一環として、豊かな人間性を獲得する一助になると期待できる。

博物館実習企画展 「西南大事“展”」

実施報告

本年度の博物館実習成果展は本学博物館特別展示室を利用して、「西南大事“展”」を開催した。西南学院の沿革と事跡、学生生活の変容に至るまでを紹介する展覧会だった。在学中の学生が母校の歴史を改めて調べる機会となり、これを一般の方にどのように伝えるのが効果的か考える実習となった。学生主体で企画立案から行わせたことによって、各実習生の自主性とオリジナリティーが発揮された展覧会だった。

ポスターやパネルなどは、自主制作したが、西南学院のイメージをベースとした色使いとなった。また、キャプションのデザインは辞書をイメージしたもので趣向の凝ったものに仕上がった。タイトルの事典になぞった「事“展”」にふさわしい展示環境と空間に仕上がったのではないか。

展示作業中にはパネルを虫ピンで止めたり、照明を調整したり各人一生懸命取り組んだ。当初計画から変更するなど、現場で判断して展示をおこなう臨機応変な対応も見られた。各人協力しながら、役割分担のうえ作業にあたった。

展示にあたって資料の調査や選定など、学生に行わせた。学院史資料室で保管されているこれらの資料の取り扱いについては基礎実習で教わったことを実践することができた。展示が終わったあとの撤収作業も学生がおこない、調査→選定→借用→展示→撤収→返却の工程を経験する機会となった。



展示作業風景



展覧会場風景



2011年度 せいなんこどもワークショップ概要

2011年度は計6回のワークショップをおこなった。今年度も西南学院小学校の児童のみならず近隣の学校に通う多くの児童が参加し、毎回定員40名を超える申し込みをいただいた。

第1回 6月25日（土）船のペーパークラフトをつくろう（参加人数：54名）

特別展「天草一祈りの原点とキリシタン文化」のギャラリートーク、見学を通して様々な文化が船によってもたらされたことを知ってもらった。南蛮船のペーパークラフトを作成することで、当時の日本の船と西洋諸国の船の違いについて実感してもらえたと思う。



第2回 8月27日（土）ドージャー探検隊！—^{クロスマーク}十字架のありかを探せ—（参加人数：73名）

グループごとに博物館内の十字架の図像をもつ展示品にまつわるクイズを解いてもらった。参加者は展示をじっくりと観察しクイズの答えを導き出していた。博物館実習生による答えあわせも大変盛り上がっていた。最後にドージャー探検隊の記念バッチを贈呈した。



第3回 9月17日（土）せいなんミュージアムカードをつくろう（参加人数：43名）

博物館内外でスケッチを行い、展示品や建物を観察して得た気付きや発見の喜びをミュージアムカード（絵手紙）として表現してもらった。カードは敬老の日にあわせて祖父母に宛てたものが多く、みな最後まで全員熱心にカードを仕上げ、意欲的に取り組んでくれた。



第4回 10月8日（土）みんなで仮装しよう！—ミュージアムでハロウィンを—（参加人数：83名）

ハロウィンについての講話の後、仮装の衣装を手作りした。思い思いの衣装に身を包み、博物館でハロウィンの「Trick or Treat」を体験してもらった。ハロウィンを通してキリスト教やケルトの人々の文化に親しみをもってもらえた。



第5回 12月10日（土）松ぼっくりでクリスマスツリー！（参加人数：57名）

サンタクロースの由来、クリスマスツリーのオーナメントにこめられた意味のお話の後、大小の松ぼっくりをもみの木に見立てたクリスマスツリーを作ってもらった。松ぼっくりという身近な素材での製作体験を通してクリスマス文化に触れることができた。



第6回 3月3日（土）2000年前の生活体験—勾玉（まがたま）をつくろう—（参加人数：39名）

2000年前の人々の服飾についてクイズ形式で学んだ後、滑石を紙やすりで削って勾玉を作ってもらった。完成までの約1時間半、集中して作業に取り組むことができ、当時の人々の技術レベルの高さを学んでもらえたと思う。



2011年度 博物館教職員活動記録

高倉 洋彰（本学博物館館長・国際文化学部教授）

【単著】

- ・『箸の考古学』（同成社、2011年11月） 1～141頁

【共著・編著・分担執筆】

- ・『AMS年代と考古学』（田中良之と共編）（学生社2011年6月） 236頁
- ・『大学的福岡・博多ガイド—こだわりの歩き方—』（宮崎克則と共編）（昭和堂2012年3月） 262頁

【論文・資料】

- ・「交差年代決定法による弥生時代中期・後期の実年代」（学生社、『AMS年代と考古学』、2011年6月） 203～232頁
- ・「博多の夜は屋台で飲もう」（昭和堂、『大学的福岡・博多ガイド』、2012年3月） 145～155頁

【社会活動】

- ・秋田市地蔵田遺跡環境整備指導委員会委員（2002年4月～）
- ・北九州市立自然史・歴史博物館協議会委員（2003年9月1日～）
- ・九州国立博物館評議員会評議員（2005年7月1日～）
- ・福岡市博物館資料収集委員（2006年7月1日～）
- ・九州国立博物館評議員会副会長（2007年4月～）
- ・福岡県文化財保護審議会専門委員（2008年4月1日～）
- ・太宰府市公文館構想調査研究委員会副会長（2008年12月8日～）
- ・筑紫野市文化振興審議会会長（2010年4月1日～）
- ・原の辻遺跡調査指導委員会委員（長崎県）（2010年4月～）
- ・文化審議会第一専門部会文化財専門委員会考古資料委員会委員長（文部科学省）（2011年2月28日～2012年2月）

安高 啓明（本学博物館学芸員）

【単著】

- ・『新釈犯科帳』第二巻（長崎文献社、2011年12月） 1～309頁

【共著・編著・分担執筆】

- ・「第3章第1節6 長崎奉行と犯科帳」『新長崎市史』近世編（新長崎市史編纂委員会、2012年3月） 208～214頁
- ・「第3章第2節 長崎代官」『新長崎市史』近世編（新長崎市史編纂委員会、2012年3月） 215～233頁
- ・「第7章第3節6 町人の犯罪」『新長崎市史』近世編（新長崎市史編纂委員会、2012年3月） 678～681頁
- ・「第7章第3節7 外国人に関わる犯罪」『新長崎市史』近世編（新長崎市史編纂委員会、2012年3月） 682～684頁

【論文・書評・コラムなど】

- ・「天草における宗門改一影踏と踏絵一」『海流に魅らされた島天草一祈りの原点とキリシタン文化』（西南学院大学博物館、2011年6月）45-48頁
- ・「西南学院大学博物館の取り組み」『アイコンー東西聖像画の世界一』（西南学院大学博物館、2011年11月）42-44頁
- ・「書評と紹介 本馬貞夫著『貿易都市長崎の研究』」『古文書研究』72号（日本古文書学会、2011年10月）149-151頁
- ・「書評 清水紘一著『日欧交渉の起源』」『中央史学』35号（中央史学会、2012年3月）209-217頁
- ・「福岡のキリスト教史」（高倉洋彰・宮崎克則編『大学的福岡ガイドーこだわりの歩き方』昭和堂、2012年3月）163-177頁
- ・「ユニーク大学博物館」（高倉洋彰・宮崎克則編『大学的福岡ガイドーこだわりの歩き方』昭和堂、2012年3月）203-217頁
- ・「【コラム】福岡藩校修猷館」（高倉洋彰・宮崎克則編『大学的福岡ガイドーこだわりの歩き方』昭和堂、2012年3月）58-61頁
- ・「【コラム】福岡のSA・PA事情」（高倉洋彰・宮崎克則編『大学的福岡ガイドーこだわりの歩き方』昭和堂、2012年3月）84-86頁

【社会活動】

- NBC学園講師（2011年4月～）
- 新長崎市史執筆委員（2010年3月～）

貞清世里（博物館臨時職員・本学大学院国際文化研究科博士後期課程）

【論文】

- ・西海道の法起寺式伽藍配置をとる古代寺院の検討（『西南学院大学大学院国際文化研究論集』第六号2012年1月）76-102頁

【コラム】

- ・大学的福岡・博多ミュージアムガイド（高橋幸作・中尾祐太と共著）（高倉洋彰・宮崎克則編『大学的福岡ガイドーこだわりの歩き方』昭和堂、2012年3月）

中尾祐太（博物館臨時職員・本学大学院国際文化研究科博士後期課程）

【論文】

- ・拠点環濠集落の再検討ー東アジアの視点からみた弥生時代の集落景観ー（『西南学院大学大学院国際文化研究論集』第六号2012年1月）161-183頁

【コラム】

- ・大学的福岡・博多ミュージアムガイド（貞清世里・高橋幸作と共著）（高倉洋彰・宮崎克則編『大学的福岡ガイドーこだわりの歩き方』昭和堂、2012年3月）

博物館刊行物・成果物



春季特別展図録

〔A4版 52頁 3,000部発行 発刊日2011年6月6日〕

目次	
ごあいさつ	
西南学院大学博物館 館長 高倉 洋彰	2
開催趣旨	3
目次・凡例	4
本編	
I. 海流融合の地 天草	5
II. 天草島と文化の芽生え	9
III. 弾圧とその果てに	
1. 天草四郎と島原・天草の乱	15
2. 弾圧と信仰のはざま	24
3. 島の信仰	27
IV. 海外交流の地天草	
1. 浜崎遺跡出土遺物	34
2. 棚底城跡出土遺物	35
3. 河内浦跡出土遺物	36
4. 三川城跡出土遺物	37
論考	
海の領主「天草五人衆」と天草へのキリスト教伝来	
天草市教育委員会 中山 圭	39
近世初期天草とキリスト教の状況	
天草市立キリシタン館 松本 博幸	42
天草における宗門改 一影踏と踏絵	
西南学院大学博物館 学芸員 安高 啓明	45
謝辞・イベント情報	49
出品目録	50



秋季特別展図録

〔A4版 48頁 3,000部発行 発刊日2011年11月2日〕

目次	
ごあいさつ	
西南学院大学博物館 館長 高倉 洋彰	2
玉川大学教育博物館 館長 玉井 日出夫	3
大学博物館共同企画シリーズI	4
開催趣旨	4
目次・凡例	5
本編	
I. 玉川大学教育博物館所蔵イコン	6
II. 西南学院大学博物館所蔵イコン	27
III. 玉川大学教育博物館と西南学院大学博物館の取り組み	39
玉川大学教育博物館の取り組み	
玉川大学教育博物館 教授 柿崎 博孝	40
西南学院大学博物館の取り組み	
西南学院大学博物館 学芸員 安高 啓明	42
寄稿 イコン製作過程と意義	
玉川大学教育博物館 教授 柿崎 博孝	45
出品目録	47
関連講演会	48



西南学院大学博物館年報 第3号

〔A4版 48頁 1,000部発行 発刊日2011年8月31日 ISSN 1884-8885〕

目次	
巻頭言	3
2010年度事業報告	
1. 展示活動	
春季特別展「九州のキリスト教シリーズII 南蛮の鼓動—大分に残るキリシタン文化—」実施報告	5
秋季特別展 開館5周年記念特別展「海を渡ったキリスト教—東西信仰の諸相—」実施報告	10
企画展 シーボルト著「日本」にみる近世NIPPON 実施報告	16
企画展 「蒙古襲来絵詞と元寇防塁」実施報告	17
2. 教育活動	
博物館実習	18
2010年度 せいなんこどもワークショップ概要	26
2010年度 博物館教職員活動記録	28
博物館刊行物・成果物	30
博物館講堂使用状況	34
3. 来館者動向	
来館者統計	35
特別展期間中來館者動向	36
来館団体一覧	41
4. 広報活動	43
2010年度 寄贈図書一覧	44
西南学院大学博物館職員	46

こども用パンフレット「海流に魅せられた島 天草一祈りの原点とキリシタン文化」【2000部発行 発刊日2011年6月】

1566年、アルメイダ神父が天草にキリスト教を伝えました。アルメイダ神父が天草に教会や学校をつくれたので、キリスト教はみんなに受け入れられていきました。

天草にコレジョという学校がつけられました。ここではたくさんの方が書かれました。イソップ物語の「伊曾保物語」や源平合戦を書いた「平家物語」は有名です。それらは、日本のことを知るためのものでした。

西南学院大学博物館
TEL: 092-423-4705 FAX: 092-423-4741
URL: www.acinfo-plus.jp/museum

開館5周年記念特別展
海流に魅せられた島
天草
折りの原点とキリシタン文化

天草は有明海・八代海・東シナ海(天草灘)にかこまれ、海の恵みがたくさんありました。そこにキリスト教が伝えられると、これまで見たことのない新しい文化に天草のひとたちはとても驚くばかりでした。

1 天草は古い地図にも描かれています。天保国絵図はおどろくほど詳しくつくられています。なかには中国人が説いた地図にも天草は登場します。天草がおおくの人に知られていたことがわかります。

2 1566年、アルメイダ神父が天草にキリスト教を伝えました。アルメイダ神父が天草に教会や学校をつくれたので、キリスト教はみんなに受け入れられていきました。

3 天草にコレジョという学校がつけられました。ここではたくさんの方が書かれました。イソップ物語の「伊曾保物語」や源平合戦を書いた「平家物語」は有名です。それらは、日本のことを知るためのものでした。

4 キリスト教を信じた天草のひとは、心の支えとするために、キリストやマリアなどが描かれたメダルを持っていました。そのなかでも特に熱心だった人が天草四郎時貞です。しかし江戸幕府のお役人は、キリスト教をやめさせようとしてきました。

5 天草四郎をはじめとするキリスト教を信じる人たちは、弾圧をやめさせるため、天草から島原半島の原城まで行って、幕府軍と戦いました。しかし、戦いには敗れておおくのひとが亡くなりました。

6 天草四郎らが戦いに負けてしまうと、キリスト教はさらに厳しく弾圧されます。おおくのキリスト教の人たちは仏教を信じるようになりました。しかし、それでも一部の人はこっそりキリスト教を信じていました。

7 十字架などを持つことが禁止されていたので、身近なものをお祈りの道具にしました。たとえば、形が丸いお金や銀を「マリア」としてお祈りしていました。

8 天草はまわりを海にかこまれているので、潮の満ち引きにより、十字架が隠れるようにするなど工夫されていました。自然を利用して、隠れてお祈りする人もいました。

9 箱にかこまれた天草では、中国やベトナムの茶碗やつぼなども使われていました。蘭国ですが、外国と交流していたことがわかります。

天草は島国でありながら、東洋・西洋の文化があふれていました。一度なじんだ文化は、弾圧されても忘れられることはありませんでした。天草のひとたちは、ひそかに、そして力強く伝統を守っていたのです。

博物館ニュース Volume.7

【2000部発行 発刊日2011年6月】



Volume.7
 特集：旧約聖書の三大預言書 グーテンベルグ42行聖書「エゼキエル書」(複製)
 博物館紹介Ⅶ：講堂
 特別展紹介：海流に魅せられた島 天草 祈りの原点とキリタン文化
 所蔵品紹介：グーテンベルグ42行聖書「エゼキエル書」(複製)
 大学博物館紹介⑦：九州産業大学美術館
 大学周辺情報⑦：歴史ある西南の松～西南メインストリート～



博物館ニュース Volume.8

【2000部発行 発刊日2011年9月】

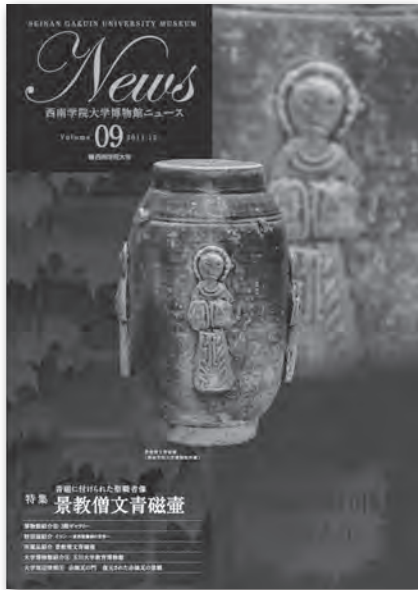


Volume.8
 特集：奇蹟とその先に… 聖パスカリス祈禱画
 博物館紹介Ⅷ：ヴォーリス設計図面と学院史資料コーナー
 企画展紹介：シーボルト著「日本」にみる近世NIPPON～年中行事～
 所蔵品紹介：聖パスカリス祈禱画
 大学周辺情報⑧：石灯籠



博物館ニュース Volume.9

【2000部発行 発刊日2011年12月】



Volume.9
 特集：青磁に付けられた聖職者像 景教僧文青磁壺
 博物館紹介Ⅸ：3階ギャラリー
 特別展紹介：イコンー東西聖像画の世界ー
 所藏品紹介：景教僧文青磁壺
 大学博物館紹介⑧：玉川大学教育博物館
 大学周辺情報⑨：赤煉瓦の門 復元された赤煉瓦の景観

博物館ニュース Volume.10

【2000部発行 発刊日2012年3月】



Volume.10
 特集：受容されたキリスト教 三位一体
 博物館紹介Ⅹ：博物館にあるふたつのスポット説明
 企画展紹介：古写真でみる西南学院Part. I
 所藏品紹介：三位一体
 大学博物館紹介⑨：日本女子大学 成瀬記念館
 大学周辺情報⑩：西南学院と海岸ーサザエさん発案の地

博物館講堂使用状況

期 日	使用時間	使 用 団 体 (者)	集 会 名 称	人数
4月 4日(月)	10:00~12:00	神学部	神学部始業礼拝	60名
4月11日(月)	9:00~10:30	国際文化学部	「学院史」講義	172名
4月12日(火)	9:00~12:00	西南学院中学校	新入生オリエンテーション	208名
4月22日(金)	12:30~14:30	西南学院大学博物館事務室	事務局新任職員研修	7名
4月23日(土)	11:00~12:30	博多学	博多学見学会	46名
5月 9日(月)	13:30~14:30	NHKカルチャースクール	見学	8名
6月 4日(土)	12:00~17:00	福岡・デンマーク友好協会、ピュアハート	チャリティーコンサート	150名
6月 8日(水)	10:00~11:00	総務部広報・連携課嘱託職員 廣瀬未来	写真撮影	3名
6月17日(金)	16:30~21:00	福岡バツハコレギウム	定期演奏会リハーサル	20名
6月18日(土)	14:00~16:00	西南学院大学博物館	特別展関連公開講演会	76名
6月19日(日)	13:30~19:00	福岡バツハコレギウム	定期演奏会リハーサル	252名
7月 2日(土)	9:00~12:15	国際文化学部 今井尚生教授	「キリスト教学」補講	39名
7月 6日(水)	11:00~12:45	国際文化学部 今井尚生教授	「キリスト教学」講義	56名
7月 9日(土)	10:30~12:00	神学部 青野詔子非常勤講師	「教会音楽」補講	5名
8月20日(土)	14:00~17:00	寺園喜基院長	コンサートリハーサル	12名
9月10日(土)	14:00~17:00	寺園喜基院長	コンサートリハーサル	12名
9月17日(土)	13:00~16:00	キャンパスサポート西南	結婚式	70名
9月20日(火)	15:00~18:00	100周年事業推進室	TV番組撮影	14名
9月24日(土)	15:30~17:30	チャベルクワイアOB・OG	古澤先生を囲む会	25名
10月 1日(土)	13:30~15:30	キャンパスサポート西南	結婚式	150名
10月 4日(火)	14:30~17:30	聖志会(西南学院中学校第4回卒業同窓会)	聖志会卒業60周年記念総会・記念礼拝	53名
10月15日(土)	10:00~13:00	キャンパスサポート西南	結婚式	49名
10月21日(金)	17:00~18:30	商学部	商学部学内GP講演会	155名
11月 2日(水)	15:00~18:00	チャベルクワイア	リハーサル	11名
11月 5日(土)	13:00~16:00	西南学院大学博物館	特別展関連公開講演会	33名
11月10日(木)	11:00~11:30	学生課	成績優秀者奨学金交付式	64名
11月13日(日)	9:00~12:00	西南学院バプテスト教会	礼拝	150名
11月24日(木)	17:00~18:00	国際文化学部 高倉洋彰教授	「博物館資料論」講義	30名
11月26日(土)	13:00~18:00	九州考古学会	九州考古学会平成23年度総会・研究発表	120名
11月27日(日)	11:00~17:00	そよかぜ合唱団	コンサートリハーサル	25名
11月30日(水)	9:00~10:30	国際文化学部 今井尚生教授	「キリスト教学」講義	42名
12月 1日(木)	9:00~10:30	国際文化学部 今井尚生教授	「キリスト教学」講義	62名
12月 2日(金)	9:00~10:30	国際文化学部 今井尚生教授	「キリスト教学」講義	54名
12月 3日(土)	16:00~18:00	西南プリエール	コンサートリハーサル	48名
12月 4日(日)	9:00~17:00	そよかぜ合唱団	コンサート	180名
12月 9日(金)	8:45~10:30	人間科学部 古田雅憲教授	「児童文学」講義	41名
12月10日(土)	13:30~16:30	西南プリエール	クリスマス・ジョイント・コンサート	150名
12月18日(日)	13:00~18:00	合唱団コーロピエーノ	講習会	50名
12月20日(火)	13:00~14:00	TNCテレビ西日本	もち浜ストア取材	5名
12月24日(土)	11:00~16:00	キャンパスサポート西南	結婚式	40名
12月27日(火)	10:00~12:00	ジャズシンガー山口葵	CDジャケット撮影	6名
1月 7日(土)	10:00~14:00	キャンパスサポート西南	結婚式	50名
1月13日(金)	18:00~21:00	福岡バツハコレギウム	コンサートリハーサル	38名
1月14日(土)	18:00~21:00	福岡バツハコレギウム	コンサートリハーサル	39名
1月15日(日)	9:00~12:00	西南学院バプテスト教会	礼拝	163名
	16:00~18:00	福岡バツハコレギウム	コンサート	270名
1月19日(木)	15:10~16:40	神学部 青野詔子非常勤講師	最終講義	25名
1月28日(土)	15:00~17:00	キャンパスサポート西南	結婚式	136名
2月 4日(土)	10:00~13:30	キャンパスサポート西南	結婚式	50名
2月 5日(日)	9:00~12:00	西南学院バプテスト教会	主日礼拝	150名
2月16日(木)	13:00~15:00	神学部 小林洋一教授	最終講義	170名
3月22日(木)	13:00~16:00	神学部	卒業礼拝	200名
毎週月曜日	11:00~12:00	神学部	チャベルアワー	—
毎週水曜日	15:00~18:00	チャベルクワイア	練習	—
毎週木曜日	15:10~16:40	神学部非常勤講師 青野詔子	神学部授業 教会音楽A、B	—
毎週金曜日	10:40~12:10	神学部非常勤講師 青野詔子	神学部授業 教会音楽研究A、B	—
	14:40~16:10	神学部非常勤講師 青野詔子	神学部授業 教会音楽研究C、D	—

3. 調査・研究

学内GPの採択をうけて

大学博物館が西南学院大学に申請した学内GP「大学博物館における高度専門学芸員養成事業－日中韓における大学博物館の機能と大学院生就業支援」（2011年度～2013年度）【取組代表者：高倉洋彰、取組責任者：安高啓明】が採択された。日中韓の大学博物館を調査するなかで、現在おかれている現状や課題、今後果たすべき役割、さらには大学博物館でおこなうことができる学芸員養成のあり方、新しい博物館学の創出について調査・検討するものである。以下、取組概要を紹介する。

取組概要

本取組は、博物館学芸員を志望する大学院生に対して、**高度専門学芸員としての実学的教育**を実施するためのプログラムを策定し、研究・教育・社会貢献（還元）といった三要素の循環を意識付けさせた「博物館人」として有能な人材（高度専門学芸員＝大学院修了者、もしくは同等の能力をもった学芸員）を養成するものである。また、大学院生に対して、一社会人（職業人）としての常識を大学院在籍中に身につけさせ、即戦力となる人材育成を目指した実学的教育をおこなっていくことを目的とする。特に下記の事項を目的とした事業を展開する。

- ①日中韓の大学博物館における学芸員養成課程の調査
- ②学芸員有資格者の大学院生に対する高度専門学芸員養成
- ③博学・学社・博社連携事業の構築
- ④大学博物館の学内における機能の再検討
- ⑤大学博物館の高度専門学芸員養成拠点機能の構築
- ⑥博物館学の再構築、学芸員養成のためではない博物館のための博物館学の創出

日本に限らず、欧米はもとより中国、韓国などアジア圏において、博物館学芸員の養成がおこなわれている。各国で学芸員に対する認識や学芸員を養成するカリキュラムは異なっているのが現状である。日本では特に、学部学生が学芸員資格を取るための講義をうけており、卒業後にそのまま博物館に入職することは非常に少ないのが現状である。本取組では、学芸員有資格者である大学院生、もしくは学芸員科目を履修中の大学院生を対象として、現場経験を積みながら、博物館事業に従事させることで、博物館学芸員としての実績はもとより一社会人としての経験を積み重ね、博物館や社会にとっての**即戦力となる博物館人材育成**を目的としている。

大学院生を本取組の対象とすることで、学部生よりも高度教育を受けている**若手研究者の就業支援**をフォローするとともに、大学博物館を有する各大学が今後、どのようにかかわっていくことができるかを考えていくものとする。これまで、本学博物館は九州大学総合研究博物館や九州産業大学美術館と連携しながら、博物館産業人材育成事業として、産学連携の講座や実習プログラムを実施してきている経緯がある。こうした蓄積をもとに、さらにすすめた大学院生を対象とした博物館人材育成を実施していく。西南学院大学博物館が歴史系、九州大学総合研究博物館は人社・自然科学系、九州産業大学博物館が美術系の博物館・美術館であることから三者が連携することにより、各分野を専門とする大学院生への幅広い人材育成が可能である。こうした大学博物館間の**横断的実教プログラム**のもとで、高度専門学芸員を育成し、博物館にその人材を輩出できる高度専門学芸員の養成拠点となりえる取組をおこなっていく。また、創設が予定されている「上級学芸員」との連動

を含めたプログラムを策定する。

近年、博学連携が唱えられて久しいが、ある程度の博物館と学校機関の協働事業は成果を挙げている。これに最近では、学社連携・博社連携も加わっており、社会に門戸を開いた博物館活動が求められてきている。閉鎖的であった博物館活動を広める動きのなかで、学校機関でもある大学博物館が、さらに社会的ニーズに応える活動をおこなうために、社会人向け、学生向けなどの教育プログラムを策定し、これに従事することができる大学院生を養成する。キュレーターとしてだけでなく、エデュケーターとしても業務にあたることができる幅広い能力を有した行動力のある「博物館人」を養成することを目指す。

2011年度調査実績

2011年11月9日（水）

國學院大學伝統文化リサーチセンター

担当者：青木豊氏・落合知子氏・野中優子氏

調査員：高倉洋彰・安高啓明・高橋幸作
中尾祐太・平川知佳・中松沙織

11月10日（木）

玉川大学教育博物館

担当者：柿崎博孝氏・菅野和郎氏・宇野慶氏・白柳弘幸氏・遊佐肇氏

調査員：高倉洋彰・安高啓明・高橋幸作
中尾祐太・平川知佳・中松沙織

学習院大学史料館

担当者：鎌田純子氏・吉廣さやか氏

調査員：高倉洋彰・安高啓明・高橋幸作
中尾祐太・平川知佳・中松沙織

11月11日（金）

明治大学博物館

担当者：外山徹氏・坂本昭一氏

調査員：高倉洋彰・安高啓明・高橋幸作
中尾祐太・平川知佳・中松沙織

日本女子大学成瀬記念館

担当者：岸本美香子氏・杉崎友美氏

調査員：高倉洋彰・安高啓明・高橋幸作
中尾祐太・平川知佳・中松沙織

東洋大学井上円了記念博物館

担当者：北田建二氏

調査員：中尾祐太

国際基督教大学湯浅八郎記念館

調査員：中尾祐太

文化学園大学服飾博物館

調査員：高橋幸作

大妻女子大学生生活文化資料館

調査員：高橋幸作

和洋女子大学文化資料館

調査員：平川知佳

11月13日（日）

東京農業大学「食と農」の博物館

担当者：安田清孝氏

調査員：高倉洋彰・安高啓明・高橋幸作・
中尾祐太・平川知佳

11月14日（月）

早稲田大学坪内博士記念演劇博物館

調査員：高倉洋彰・安高啓明・高橋幸作
中尾祐太・平川知佳

早稲田大学會津八一記念博物館

担当者：町田つかさ氏・大島幸代氏

調査員：高倉洋彰・安高啓明・高橋幸作
中尾祐太・平川知佳

11月15日（火）

駒澤大学禅文化歴史博物館

担当者：塚田博氏

調査員：安高啓明

11月16日（水）

山形大学附属博物館

担当者：佐藤琴氏・高橋加津美氏

調査員：安高啓明

11月17日（木）

郡山開成学園日本風俗美術館

担当者：田辺真弓氏・緑川洋一氏

調査員：安高啓明

2012年3月9日（金）

東京藝術大学美術館

担当者：薩摩雅登氏

調査員：安高啓明・平川知佳

3月10日（土）

立正大学博物館

担当者：内田勇樹氏

調査員：貞清世里・中尾祐太

昭和女子大学光葉博物館

調査員：貞清世里・中尾祐太

跡見学園女子大学花隈記念資料館

担当者：渡辺泉氏

調査員：安高啓明・平川知佳

多摩美術大学美術館

担当者：小林弘道氏・吉田公子氏

調査員：安高啓明・平川知佳

3月11日（日）

東北大学総合学術博物館

調査員：高倉洋彰・安高啓明・貞清世里

中尾祐太・平川知佳

3月12日（月）

東北大学資料館

調査員：高倉洋彰・安高啓明・貞清世里

中尾祐太・平川知佳

東北学院大学博物館

担当者：辻秀人氏・青村光夫氏・小木恵美子氏

野田豊氏

調査員：高倉洋彰・安高啓明・貞清世里

中尾祐太・平川知佳

3月13日（火）

岩手大学ミュージアム

担当者：佐藤由紀男氏

調査員：高倉洋彰・安高啓明・貞清世里

中尾祐太・平川知佳

3月14日（水）

秋田大学附属鉱業博物館

担当者：千田恵吾氏

調査員：高倉洋彰・安高啓明・貞清世里

中尾祐太・平川知佳

3月15日（木）

札幌大学埋蔵文化財展示室

担当者：川名広文氏・田辺奈々瀬氏

調査員：安高啓明・貞清世里・平川知佳

北海道大学総合博物館

担当者：湯浅万紀子氏

調査員：安高啓明・貞清世里・平川知佳

3月16日（金）

札幌国際大学博物館

担当者：越田賢一郎氏・坂梨夏代氏

調査員：安高啓明・貞清世里・平川知佳

凡例：①本事業3ヶ年のうち、初年度は28大学29館を調査した。なお、これと別して江戸東京博物館（担当者：熊谷紀子氏・落合則子氏・杉谷正則氏）、世田谷区郷土資料館、仙台市博物館、秋田城跡・地蔵田遺跡（担当者：進藤靖氏・神田和彦氏・伊藤武士氏・高橋明道氏・安田忠市氏）を調査した。

②担当者の記名のある大学博物館についてはヒアリングを実施した館とし、記名がないところについては、見学のうえ資料を収集した。

③高倉洋彰（本学博物館長）、安高啓明（本学博物館学芸員）以外の調査員は実施当該年において本学大学院に在籍しているもので、「博物館GP研究員」として随行した。

4. 来館者動向

来館者統計

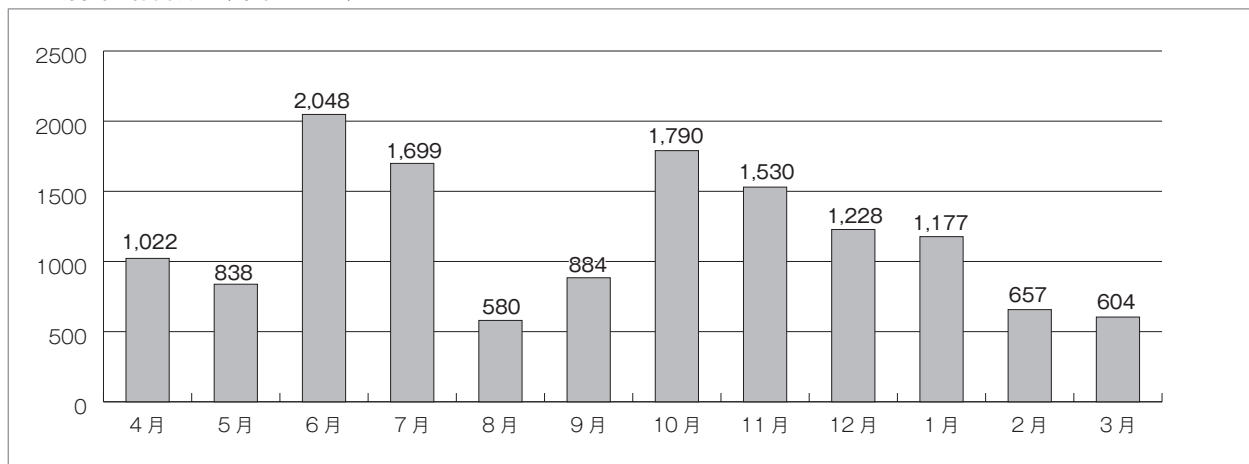
開館以来来観者数 78,501人
 2011年間来館者数 14,027人
 2006~2010年間来観者数 64,474人

2011年度 月別来館者統計

2011年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数		26	26	26	27	21	23	26	27	24	22	25	27	300
学内	教職員	87	57	60	65	32	37	50	115	96	33	11	31	674
	本学学生	375	351	622	458	74	113	548	474	290	262	24	228	3,819
	学内小計	462	408	682	523	106	150	598	589	386	295	35	259	4,493
学外	大人(一般)	245	194	986	533	224	437	622	848	662	827	560	232	6,370
	他大学生	46	57	27	16	3	12	4	14	8	44	14	6	251
	高校生	50	32	306	333	196	241	518	27	132	4	37	56	1,932
	中学生	203	0	0	123	4	3	0	4	0	4	8	2	351
	小学生	11	138	38	122	38	33	47	36	30	2	0	37	532
	幼児	5	9	9	18	9	8	1	12	10	1	3	12	97
学外小計		560	430	1,366	1,145	474	734	1,192	941	842	882	622	345	9,533
海外居住者		7	25	44	107	116	6	9	24	23	90	93	38	582
男女比	男性	254	183	296	415	216	152	498	390	168	190	164	159	3,085
	女性	267	234	343	644	237	314	546	456	243	240	121	146	3,791
	不明	501	421	1,409	610	127	418	746	684	817	747	372	299	7,151
合計		1,022	838	2,048	1,669	580	884	1,790	1,530	1,228	1,177	657	604	14,027

月別来館者数 (単位：人)



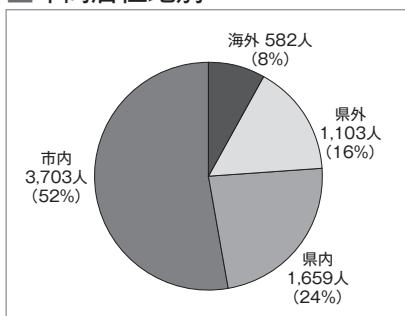
月別開館日数 (単位：日)

月	開館日数
4月	26
5月	26
6月	26
7月	27
8月	21
9月	23
10月	26
11月	27
12月	24
1月	22
2月	25
3月	27
合計	300

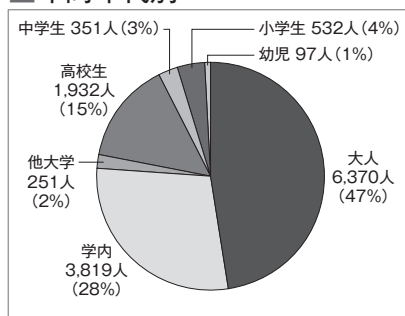
月別1日あたり平均来館者数 (単位：人)

月	平均来館者数
4月	39.3
5月	32.2
6月	78.7
7月	62.9
8月	27.6
9月	38.4
10月	68.8
11月	56.6
12月	51.6
1月	53.5
2月	26.2
3月	22.3
平均	46

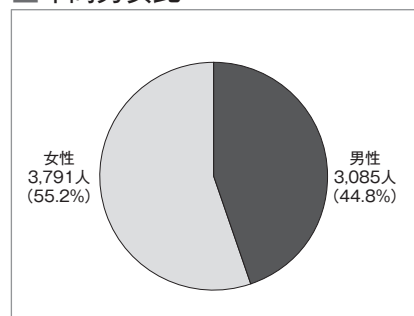
年間居住地別



年間年代別



年間男女比

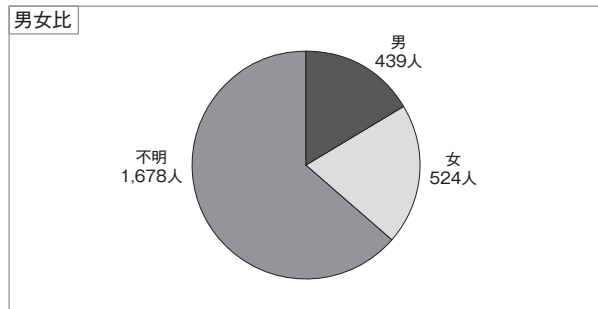
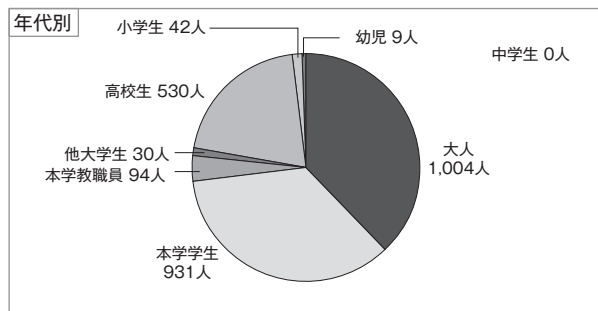
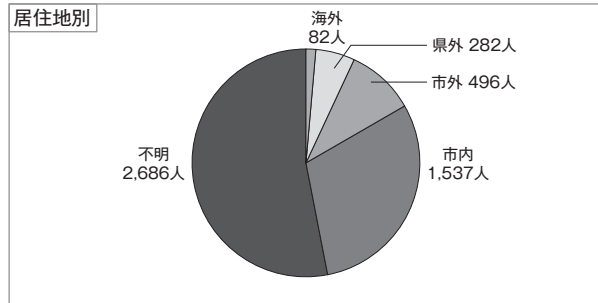


特別展期間中来館者動向

■第8回特別展

『海流に魅せられた島 天草
—祈りの原点とキリシタン文化—』

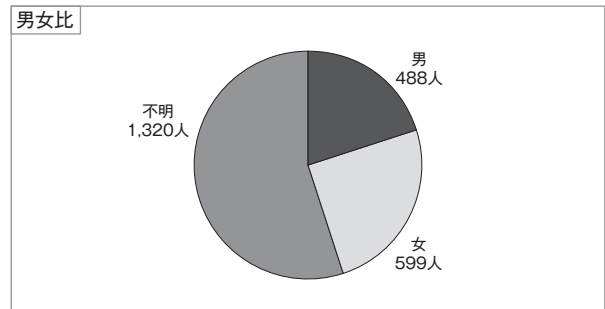
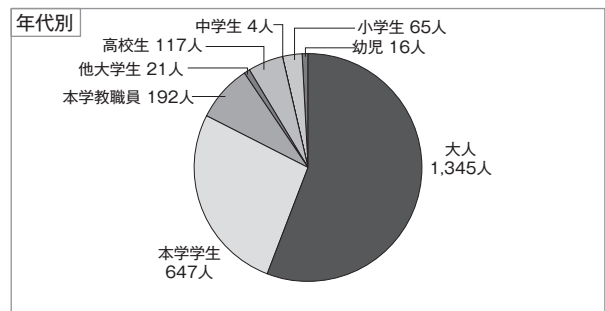
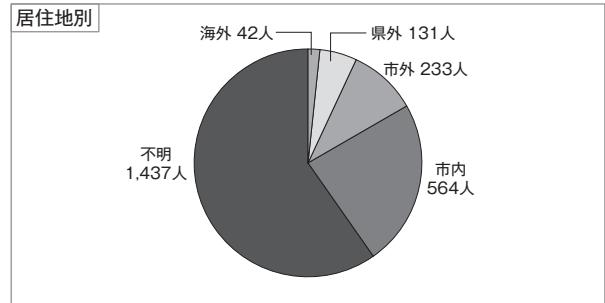
6月6日(月)~7月16日(土)
総来館者数 2,617人 開催日数 35日



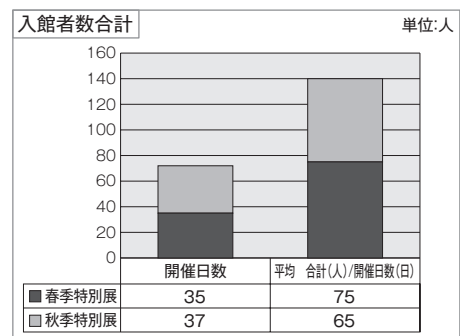
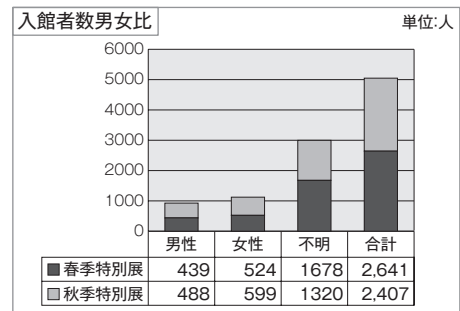
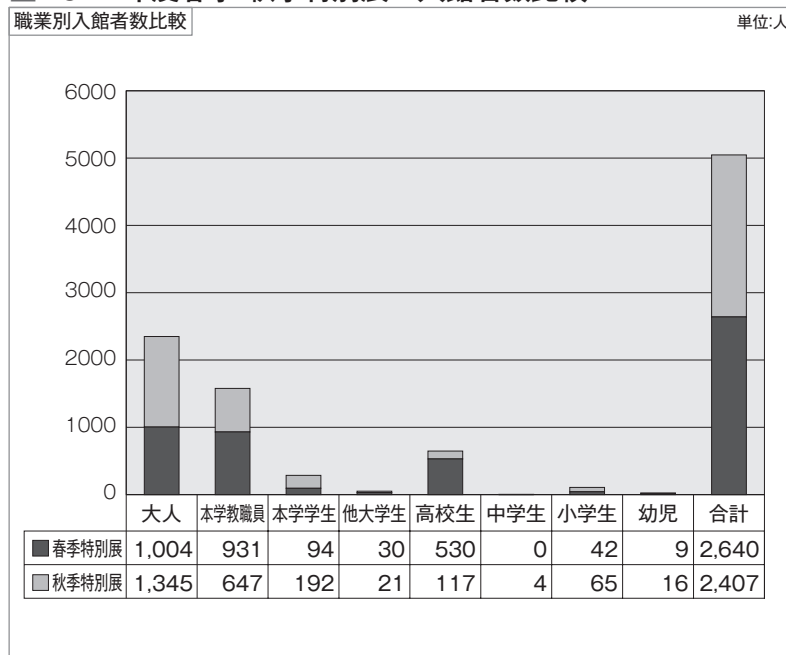
■第9回特別展

『大学博物館共同企画シリーズI イコン
—東西聖像画の世界—』

11月2日(水)~12月10日(土)
総来館者数 2,407人 開催日数 37日

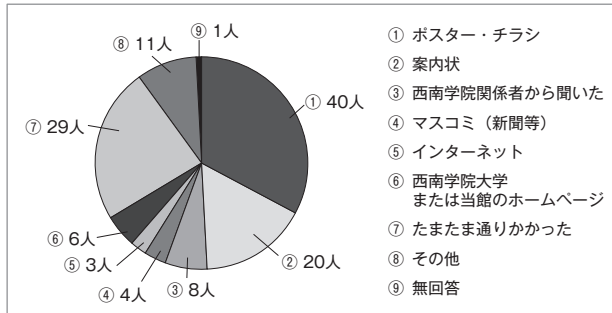


■2011年度春季・秋季特別展 入館者数比較

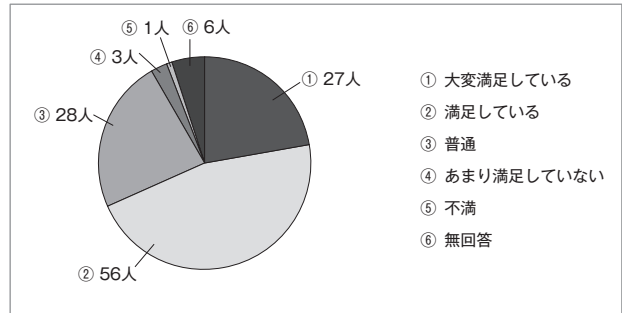


2011年度春季特別展 『海流に魅せられた島 天草一祈りの原点とキリシタン文化』アンケート集計

1. 本日の特別展をどのように知りましたか？



2. 特別展の内容についてお答えください。



3. アンケート

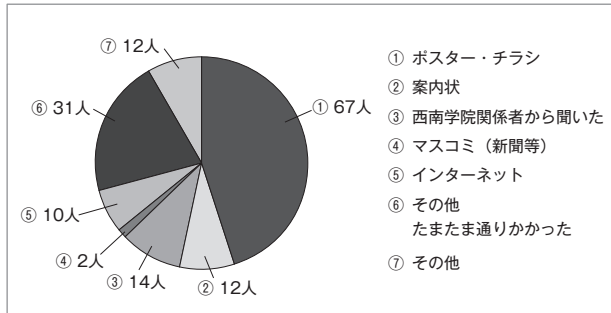
年齢	性別	職業	意見・感想	興味を持った資料	今後希望する特別展のテーマ	
59	女	その他	展示の雰囲気、照明がよかったです。今日は時間があまりなく、丁寧に拝見できずまた機会があれば来館したいです。資料館でこのような展示をしていることを知りませんでした。	博物館設計のヴォーリスの案内。西南学院大学の歴史があり、大変興味深かったです。	キリスト教と教育について。2008年あったようなヴォーリスの特集があれば是非来館したい	
38	男	その他	豊富な解説と資料	天草の乱のこと	黒田如水がキリシタンだったこと	
59	男	その他	天草の乱についてわかりやすかった。	旗印	からゆきさんと信仰	
60	女	その他		潜伏キリシタンの納戸神について、私の記憶にあるのはマリア観音が多かったのですが、鏡や仏ははじめて見ました。また、長崎には極少数ですが、隠れキリシタンの方が今も存在すると言われていますが、天草はどうなんだろうと思いました。		
67	男	その他		潮隠しクルス		
68	男	その他	弾圧(潜伏)期の貴重なものが見られた。特に、浜辺で見られた十字架(潮隠しクルス)	潜伏キリシタンの信仰の対象となった道具	五島列島の隠れキリシタンについて	
71	男	その他	天草のキリシタンの歴史がイエズス会との関連の深いことがわかりました。遺物の本物を見れたこと(ロザリオ、メダイなど)	隠し十字架、天草四郎陣旗	福岡・博多のキリシタン文化展(近年、企画されているとの事で期待しています)	
70	男	その他	キリシタンのわかりやすい話でおもしろかった	大黒、銭仏		
53	男	自営業	日ごろ見られないもの、大黒様とか銭十字とかがみられてよかったです	天草独自のもの 銭十字、大黒様、鏡とか	今回、質問があったが、キリシタン遺物であるかの展示が欲しい。キリシタン遺物も各地でいろいろあるようである。見てみたい。できればイエズス会以外のこと、今回省略されたが海外交流のことを話してもらえたらうれしい。	
66	女	勤労者	天草からの物(本物)が多く良かったです。	陣中旗、海岸にあったとされる十字架が彫られた石	海外のキリスト教及び国内のキリスト教	
64	男	勤労者	天草へ行って見たくなった。			
	女	本学教職員	日頃みることができない展示	潮隠しクルス	このシリーズを続けてほしい	
58	男	勤労者				
79	女	その他	少ない		特にありません	
40	女	勤労者	松本氏の天草に於けるキリスト教の有様が良く理解できた。	銭仏、はさみ	福岡におけるキリスト教	
69	男	その他	貴重な資料などが多くあり新鮮な印象を受けました。		徳川初期に於けるキリスト禁止に至る迄の過程。イエズス会をフランシスコ会との相違、対立点について詳細な講演が企画されたらと思います。	
85	男	その他			キリスト教の弾圧について(異教だとの理由の他に何等の理由は)	
57	女	その他	潮隠しクルス…海を利用して、天草ならではの、信仰のカムフラージュの仕方が興味深いです	地図、陣中旗、キリシタン版の書物	4月か5月ごろ、大分の野津町原でキリシタン墓の発掘されたとの新聞で読みました。詳しい情報が知りたいので、いつか展示していただければと思います。	
50	女	勤労者		ロザリオ、銭仏	長崎のキリシタン文化等、他の地域での歴史	
54	女	勤労者	私はキリスト者ですので、いつもこの博物館の催しには興味が			
	男	その他	③ではあるが、毎回、得がたい貴重な企画ではありません。(人がたくさんいたので、また、出直したいです。)			
67	女	その他	天草の歴史がわかった			
62	男	その他	講演者をもっと絞ったほうがよかったです			
61	男	その他	講演会(ナシンボジウム)が充実していました。			
38	男	勤労者	キリシタン文化関連の展示も興味深いものが多かったが、それ以外の天草地域文化を紹介しようとする視点もよかったです。			
48	女	その他		潮のクルス		
18	男	本学学生	天草とキリスト教についてよく分からない人でも分かる	三川城跡出土遺物	フランスに関する展示	
18	男	本学学生	天草の魅力をより知ることができる	河内浦城出土遺物	フランスにまつわる展示	
	女	自営業	資料の一点一点に、隠れキリシタンの想いが込められていると感じました。	大黒天や丸い鏡を「マルヤ＝マリア」と呼んで信仰の対象にしていたことは初めて知りました。	中世(日本で行われた)ミサと現代のミサとの違いなどを知りたいと思います。	
	男	その他	良かった点:スライドがはっきり見えたこと 悪かった点:音声面(話者の滑舌、早口)	天草の支配層は、もともと唐津藩だったところ		
82	男	その他	たくさんの聖書や魔境等、珍しいものを沢山見せて戴きました。西安の碑林博物館で展示のものに気付かませんでした。(少し見れば良かった)			
47	女	その他		天草四郎祈り	キリスト教に関連する催物など	
54	男	勤労者	天草に行かないと見れないと思っていた資料が見られたこと	陣中旗、攻城図	同じキリスト教でも独自に発展したアルメニア教会などコーカサス地方やエチオピアなどの宗教に関するもの	
70	男	その他			キリスト教文化に関する一切例、音楽、建築、絵画、文字、歴史	
29	勤労者		昔、教科書に出てきたことなどが改めて勉強になった	隠しクルス、魔境	教科書で習ったこと、あつ聞いたことある!というような歴史物をお願いします。	
30	男	その他	展示品が多い	天草筒、潮隠しクルス	何でも、池上彰さんみたいにやさしく分かりやすくすれば。	
27	男	自営業	数が少ないと感じました(特にテーマに関して)			
48	女	勤労者	天草のかくれキリシタンについての展示をはじめて見たので勉強になった	潮かくしクルス、銭で十字を作ること		

年齢	性別	職業	意見・感想	興味を持った資料	今後希望する特別展のテーマ
60	女	その他	ユダヤ教とキリスト教のつながりについてすこしわかった。		キリストは白人ではなくユダヤ人で、いいものが勝てる由ではなし、作り話であったという説。
36	女	その他	説明も丁寧で真心を感じる内容でした。	最後の晩餐の各国の絵画	キリスト教の教えの内容そのものを紹介できるとよりよいかと思います。
53	女	勤労者	天草地方のキリスト教の歴史を知ることができた。	島原の乱の聖旗が残存していたことをはじめて知った。	イコンに関すること
53	男	勤労者	天草の乱の幕府側にオランダが味方したことは興味深かった	16世紀の平家物語の本	キリスト教の宗派はどういうふうに分かれていったのか。
23	男	本学学生	疲れた体が癒されました		
—	女	その他	展示品が多い	魔境	
63	男	勤労者	貴重な資料が整理されて展示されていた。	天草の資料	ヴォーリスの建物に興味があります。
19	女	学生		ロザリオつぼ	
63	女	本学学生	世界三大聖旗のひとつをみれてよかった		
65	男	その他		福岡城絵図	
40	男	勤労者	九州という地域に根ざした展示で興味をもちました。		
81	女	—	陣中旗を天草まで見に行こうと思っていた。たとえレプリカであっても満足しています。	天草四郎陣中旗 本物を天草まで見に行こうと思っています。	
44	男	勤労者	多くの事を知ることが出来ましたし、貴重な物を見られ満足です。	HIS聖杯、大黒天像	創世期に関する物
55	男	勤労者	詳しく知ることができた		
21	女	学生	見に来た人が(久しぶり)になつかしめること、建て物を		
51	男	勤労者	キリスト教と天草島原の乱のことをものを通してうたえている	メタリオン、燭台、陣中旗、屏風と刀、潮隠しクルス	
53	男	勤労者	説明がわかりやすい	旗	
60	女	その他	学校にいろんな昔の品物があること		
73	男	その他	昨年天草西海岸に1泊し、コレジオ館を見学した。	天草四郎陣中旗	不明
63	男	その他	親父の故郷が天草で、興味深く拝見		
68	男	その他	潮隠しクルス(大変苦勞してあった状態)		
67	女	その他	天草にある物を身近に見られて興味深かった	古い聖書の展示や魔境ナド	
67	男	その他			福岡県内のキリシタン史
14	女	学生	大学の中にある教会で、けっこん式があげれる所です。	今まで踏絵にきょうみがなかったけど、今日、踏絵をみて、少しきょうみができました。	
15	男	学生		踏絵がとても本物だったから興味をもちました。	
15	女	学生	置き方など見やすかったし、説明などが分かりやすかった。	2階にある教会の雰囲気がよくてもっとどうなっているか気になりました。	
14	女	学生	天草四郎の絵があった所、大きなピアノがあった所	教会のような場所があり、とても綺麗だった。	世界の文化について、もっとくわしく知りたい。
82	男	その他	貴重な資料が展示されていて吃きました。	全て	
24	男	本学学生			潮隠しクルス
—	女	勤労者	教会に行っているの、大変うれしかったです。	宗門改人制帳	
41	女	勤労者	歴史的な事に関して興味をひかれました		
64	女	その他		見づらい	
—	男	勤労者		旗	他のキリシタンについて
—	女	—	映像	アルメイダのデッサン	プロテスタント、ルターの宗教改革展など
60	男	勤労者	ビデオ	建物	
62	女	その他	6月に天草へ行きロザリオ館キリシタン館回ってきました。更に展示で興味をわきました。博物館の建物すばらしいです。		
48	女	本学教職員	展示品をくっつけて並べすぎです。もう少しゆったり展示して下さい。	「潮隠しクルス」です。これまで平戸や生月などで「マリア観音」やその他の信仰のよりどころとなるものを見ましたが、この「クルス」は一番印象的です。	以前に行われていた島原と併せて、日本におけるキリシタン信仰の展示を行って下さい。
37	女	その他	貴重な品々が本格的に展示されていた事		魔境を作成した技術に感心しました。
—	男	勤労者	父が卒業生なので父のルーツをたどれて良かった	天草の隠れキリシタンの礼拝物	音楽
41	女	本学教職員		砂の中の十字架	
47	女	勤労者	時代背景に沿って、わかりやすく展示されている。	江戸時代の魔境	九州におけるキリスト教の歴史
65	女	その他	遠くに出かけずとも見られるものがある。	かくすための工夫の数々	
63	女	その他		キリスト教の事、世界としては展示が有る。天草のは？ビデオは良いが私に時間があまりなくて。	
16	女	学生	たくさん資料がある		歴史系
57	男	勤労者	ビデオが良くわかりました。乱ではオランダが幕府側について、反対に乱に参加しないクリスチャンもいたことがわかりました。	天草本、グーテンベルグの力はすごいと思いました。イソップなど宗教でないのが含まれているのも嬉しい。	私は仏教なので知らないことばかりで何でもおもしろいです。たとえば過越祭など最近やっとわかった位です。
53	女	本学教職員			
21	女	本学学生		天草・島原の乱手負討死一件	
59	女	その他	踏絵、キリシタン制札、本物があるとは。写本美しい！魔境	最近カリグラフィーの勉強を始めたので彩色の聖書は思いがけず嬉しかった	賛美歌など音楽について
55	男	勤労者	ビデオで全体像がみえ、その資料を展示		
18	女	本学学生	初めてこのような特別展に来たのですが、室内の雰囲気やビデオによる説明がよかったです。	2Fと3Fがすごく暑かった。	キリスト教絵画がもっと見てみたいです。
64	女	自営業	直接、島原の乱に関係した品物を見て、感動しています。天草にぜひ行って見たいと思います。	聖書、同じクリスチャンとして興味深いものがありました。	
67	男	その他	歴史を身近に感じました。		
62	男	自営業	自分の興味とマッチしているから。	天草地方の遺跡、遺物の現物を堪能した。	日本のキリスト教史、九州以外のキリシタン追書史
20	女	学生	美しい、と思った。	皿のようなもの。	
68	男	その他		旗	
72	男	その他	天草四朗時貞の人となり、信仰が知りたかった	砂かくし十字架	
19	男	本学学生	良かった点：天草が好きだから 悪かった点：少し展示が少なかった	キリシタン鉢	
60	女	その他	陳列点数がほどよい数であるのが良い。気軽にのんびりと見て回れるのが良い。	潮隠しクルス、銭仏、陣中旗、織部焼きの燭台etc	
18	男	本学学生	教科書等で見たこともないものが多く良かった。	魔境、メタリオン	吉村作治の青いミイラ、コロボ
19	女	本学学生	普段では見られない品々やビデオ解説など		普段公開されないような品物が見たいです。
65	男	その他	光り輝く天草四郎の絵を見ることができたから	福岡城絵図。若い頃に訪れたような記憶があります。が、そこが天草のどこかわかりません。天草全体の略図があればと。	五足の靴とキリスト教

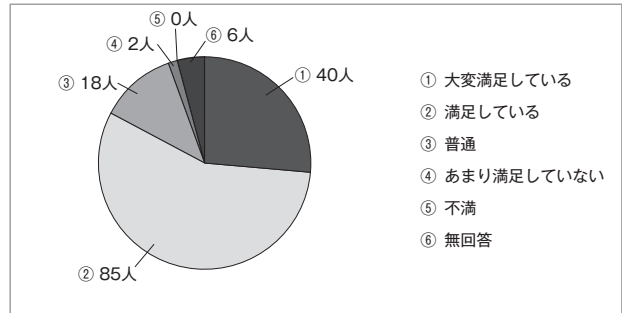
※—は無回答を示している。

2011年度秋季特別展 『大学博物館共同企画シリーズⅠ イコン—東西聖像画の世界—』アンケート集計

1. 本日の特別展をどのように知りましたか。



2. 特別展の内容についてお答えください。



3. アンケート

年齢	性別	職業	意見・感想	興味をもった展示資料	今後希望する特別展
61	女	その他		ルーマニア十聖図やアジア各国のイコンの解釈が興味深かった。中国(3F)のイコンはまるで中国人、儒教家のような中華思想を見るようになっていた。	今回のようにカトリック系の大学博物館との交流展もおもしろい。
-	女	自営業		ロシアのイコンは特に聖書の肌が黒いように思いますが、これは単なる褪色でしょうか？気になりました。	
70	男	自営業	イコンの絵の表現	ルーマニアのイコン、豊かな感じがする。素朴な表現は信仰を明らかな面でもとらえている。	
9	女	学生	全体的に、〇〇年～〇〇年など、いろいろせつめいが、分かりやすかったりしたから。	十字架イコン	織田信長の絵など
63	男	その他	美しかった	十字架のイコン	ザビエル
29	男	その他	イコンの実物を多数見ることができた。静かでゆっくりと観てまわれた。	礼拝堂、イコン	
46	男	勤労者	展示品の多さ		
78	女	その他	テレビでイエスの生涯が、イスラエルに行ったところが見れてストーリーも思い出されとてもよかったです。		
80	男	自営業	キリスト教の基となる文化の勉強		
22	女	本学学生	説明がわかりやすかった点		
20	女	学生	すごくきれいでいるんなものあって、見ていて面白かったです。	ルーマニアのイコン	
42	女	勤労者	歴史を知れたこと	国によって絵が違うのが興味深かったです。	
38	女	勤労者	詳しい説明ときれいな保存状態	最後の晩餐の絵、3種類あったとは知りませんでした	
22	女	本学学生		三本手のマリア	聖杯展
40	男	勤労者		最後の晩餐の絵画類、説明のとおりガリレオのものかしらなかつたので	
21	女	本学学生	「イコン」がなんなのかよくわからなかった。		
59	男	勤労者	日本にこういう資料があること	荘厳の聖母子像、その他聖母子像、十字架イコン	
-	女	その他	一か所に集められた展示品を実際に目にする喜びが与えられた。イエス・キリストをさらに知り得ることも感謝です。	踏み絵、死海文書	
50	女	勤労者	マジックミラーが知っていたけど感動	年表がとても勉強になった。	キリスト者としてそのビデオなど
15	女	学生	昔のことがよくわかるものがたくさん置いてあった。光に当たると十字架が映し出される鏡に感動した。		
-	女	その他			
43	男	その他	イコンを眺めるのが好き		
57	女	その他	イコンに関心はありましたが、なかなか実物を見る機会がないので、本物を見てうれしかったです。	聖母子像が多いと感じました。	
80	女	その他	色々な国のイコンを見ることができて満足	三本手の聖母子像	
75	男	その他	イコン自体を近距離でみるのができた		
67	男	その他	色々な国へ伝えられたキリスト教の歩みを知って福音は世界中に伝えられていることに感激しました。	道順が明示されていなかったで、時代の流れに沿って古いものから現在に至るまで矢印の案内板があるとうれしかったです。現在の聖書に至るまでの聖書の歴史がよくわかりました。	
70	男	その他	画集などしか見る機会がないので。		
47	女	その他		聖母子像(ホディギリア型)	キリストに関連する催し物など
47	男	勤労者	わかりやすい展示、貴重な作品	ドージャー先生の生い立ち、西南の歴史	
72	男	その他	昔のままでよかった		
22	女	本学学生	イコンの展示が見れた点	西南学院大のイコン	
66	男	本学教職員	イコンの実物をはじめみるのができたこと		
20	女	本学学生	世界史で写真でしか見れなかったものが間近しかも無料で見れたこと		キリスト教は宗教歌も多いので、それをまとめたもの。たとえば、当時の楽器や楽譜などご紹介いただけたら嬉しいです。
32	男	勤労者	貴重な資料だった。特にイコンは西方教会のわれわれにとって珍しいものだった。		
36	男	勤労者	歴史を感じることができた。		
70	女	その他	イコンのことがわかったこと		
44	男	その他	西洋東洋それぞれのキリスト教受容、表現の違いが興味深くみれた。	携帯イコン(三つ折)当時の人の思いが感じられる	ドージャー氏や当時の宣教師の活動、また日本人(庶民)の反応
18	男	本学学生	パイオルガンの音に引き込まれそうだった。	歴史	映像をもったの説明がほしい
18	男	学生	展示物の配置	魔鏡、写本、ロゼッタ石	
17	男	学生	以前オープンキャンパスのときに来て、拝見したのですが、また来てみてキリストのことについて詳しく知れて、満足です		
70	女	その他	静かな中で色々見られてよかった。		
44	女	自営業	歴史ある西南学院大学のことがわかりました。	博物館建物もよかったですと思います。	
52	女	自営業	今まで見たことのない貴重な資料を見ることができたから	踏み絵	
72	女	その他	東方教会で多数見たが、今何を言わんとしていたのかわかった		
50	男	勤労者		イコン	
24	男	学生	講堂がとても趣がありよかった		
41	男	勤労者	イコンという企画が珍しいと思った。		
53	女	勤労者	信仰が形として見られたこと	魔鏡	
54	女	その他	聖書のみ言葉が生きていると感謝です	聖書に出てくるからしだね、乳香など	
27	女	その他		魔鏡、テレビ上映、イコンの展示	
33	男	その他		ロシア以外の東欧、バルカン半島のイコンの展示もあれば良かったと思います	
53	女	勤労者	多くのイコン特にアフリカアジアのものを初めてみました		
58	男	その他	本学教職員、ドージャー氏のことわかってとてもよかった	私の誕生日の6月20日に「ドージャー院長の面影」が発行されるとあったのにおどろいた	
44	女	その他	土地によりイコンの感じが違うのが興味深かったです		
60	男	本学教職員	イコンの実物をはじめ見て強い印象を受けました。特に内面の信仰が見える形で表現されている点に感銘を受けました。		

年齢	性別	職業	意見・感想	興味をもった展示資料	今後希望する特別展
60	女	その他	描き方、表情の違いが面白かった		
49	女	その他	キリスト教の歴史についてわかりやすく説明されていた	キリスト教の絵画と最後の晩餐(時代よっての違い)	
67	男	その他	イコン画を見るのは初めてなので、興味深く拝見できた	踏絵、特に黒田藩のものに身近かなものを感じた	
20	女	学生		三本手のマリア	特にありません
68	男	その他		景教	景教
42	女	勤労者	様々な国のイエス様を拝見できたので、ステキな作品が多くておどろきました。ありがとうございます。		
36	女	その他	家にもイコンがあるので古いイコンや色々なイコンが見れてよかったです		
39	女	勤労者	国による作風の違いが面白かった。	グーテンベルグ印刷がみれて良かった	
—	—	—	—	聖書	
53	男	その他		展示資料の展示角度が平面なので光の反射でのできこまないと見えない	
54	男	勤労者	メキシコ、エチオピアの物など初めて見ました。珍しいですね。作品資料に強くライトを当てられないのは確かですが暗くて見えづらいです。	十字架イコン、聖母子(ボディギトリア型)	教会建築の歴史
21	女	本学学生	イコンがとても美しく、当時の様子を詳しく知ることができた点		
65	男	本学教職員	時代的には新しいもののみであるが各種タイプのイコンがそろっている		①イコンを再び②ロシアイコン③ルネサンス以前のキリスト教絵画など
70	女	勤労者	良かった点:三本手の聖母 悪かった点:奇蹟を表している事		西南学院100周年を楽しみにしております
42	女	自営業	信仰心の厚さを伺える素敵な作品ばかりでした		
60	男	勤労者	大学所蔵の貴重品を死蔵させないで公開することは良いこと。しかも遠い大学のものでカンタンに見に行かれないものを交換展するのは良い企画と思える。	フィリピンのアジアのもの	
21	女	本学学生	魔鏡がすごかった		
62	女	その他	ふだん見ることができないイコンを見ることができたので	メスーサー、没業、ランプ	
67	男	自営業	玉川大学の紹介 イコンの実物を拝見できたこと	十字架イコン	
21	女	本学学生	いろいろと発見があった	キリスト教の歴史	
69	女	その他	数は少ないがあまり目にしないイコンを見ることが出来感謝しています	トリケルサーの聖母、十字架イコン(裏面もコピーしていただきありがたい)	
—	女	その他	良かった点:大同土のコロバ。イコンのきれいな色彩/悪かった点:番号がふつであるのでその順に見ようと思ったが番号順に通れなかった	3枚折、人の信仰の深さ	
59	男	自営業	聖書のレプリカ本が多さ、イコンのすばらしさ、キリスト教系大学の口の深さ	古きイコン	
29	男	勤労者	展示数がたくさんあった	聖母子(ボディギトリア型)の金属板の細かい技術がすごかったです	
41	女	勤労者	バプテスト教会員ですが聖母マリア頌歌の演奏を素にしています。日頃まとめてイコンを見る事はあまりなくイメージがふくらみました	三本手の聖母	うーん違いで何とでも。ただ九州の初期教会群に興味あります(大阪より)
53	男	その他	懇切丁寧な解説とイコンの細部まで照らされた照明 東方教会の□い□□、伝統に触れることができたこと	聖母のイコン	
62	男	その他		十字架のイコン	
36	男	勤労者	36年間知らなかったものを学ぶことができた。	ふみえ	
33	男	勤労者	学生時代に習った知識を深めることが出来た。	全て	
—	女	—	素晴らしいかったです。たっけいが特に	イコン 写本 魔鏡	イコン引き続き
—	女	—	そうごんふんい気の中で神の世界を感じられました	イコン全般 写本 魔鏡	イコンを更に…希望します
21	女	本学学生	東西の対比		
23	女	勤労者	聖書の世界というビデオがとても分かりやすくおもしろかったです。		
52	女	その他	16世紀~のロシアイコンを初めて見る事が出来ました	キリストのイコン 三位一体 全てです 魔鏡	イエス様にもっと焦点をあてたものや歴史について詳しく説明したものがいいです。
15	女	学生	いろんな絵があって見て比べるのができた。		他にもイコンを見たいです
49	男	勤労者	ロシア・ギリシャ・アジアの違いがわかった	キリストの手	他の宗教
48	女	勤労者	わかりやすかった。	中国の絵画 イコン	
33	女	勤労者	イコンとは何かという点の説明がなかった		
63	男	その他	資料の纏め方。視覚的に訴えて解り易い/年表・映像		
39	男	その他	貴重な資料が沢山あり勉強になりました。		
59	女	その他	イコンに関する資料がもう少しあるのかと思っていました	聖書の変遷	
58	その他		今まで知らなかった事を知ることができた		
53	女	その他	(TVや本でしか見たことがない)本物のイコンが見れて、歴史の重さも感じられました	ドージャー記念室	
23	女	学生	空間と展示作品両方たしめた	アジアのキリスト教関連作品	音楽とキリスト教が関係するものなど
22	女	本学学生	色々な国のものがあるって違いが見えて面白かったです。		
22	女	本学学生	様々な展示がしてあり、比べて見る事が出来てよかった。	怒りの表情のキリストが気に入りました。	キリスト関連や日本との関係など
22	女	学生	あまり見る機会がない作品だったのでわくわくしました。展示の仕方も博物館の雰囲気と合っていてとてもよかったです。		
42	男	勤労者			日本で制作されたイコン展
38	男	勤労者	古いイコンが見れたから	エチオピアのイコン	キリスト大名の小西行長や黒田如水について取り上げてください
21	女	本学学生	「イコン」というものを初めて拝見でき、感動しました		
19	男	本学学生	神秘的というか、雰囲気がとても好きだった		
65	女	その他	キリスト教の歴史が良くわかるように展示されていた。西南学院の歴史もわかりました。	植物の勉強をしているので、聖書に出てくる植物に興味をひかれました。	
52	男	勤労者	貴重なイコンを見ることができました。		
59	男	勤労者	様々なイコンがあることを知ることができた。	聖母子18世紀イタリア…ラファエロの絵を思い出した	いろいろな講演会も希望します
20	女	本学学生		イコン展	
	男	勤労者	図版資料が数多く見れたこと	ICON(アイコン)と呼んだ方が適切ではなかったか?	米国Loyola大学の資料と合わせた神学展か?
48	男	その他	展示品も建物もすばらしい	ユダヤ教関係のもの	
21	男	本学学生	西欧における普段見慣れている宗教芸術ではなく、東欧のイコン芸術というのが新鮮だった		
24	男	本学学生	フィリピンやメキシコといった後世になってキリスト教が伝わった国のイコンが見れた点/一部イコンの詳細が(ガラスケースが大きい)見づらかった		天使についての特別展
46	男	勤労者	素朴なアジがよかった	No.25、24	
70	男	その他	宗教的知識が多く得られた	踏み絵	
41	男	本学教職員	エチオピアなどのアフリカのイコンとロシアのイコンの違いがわかってよかった。	二つの違いを説明してはどうか。	
64	女	学生	こぢんまりしていて落ち着いた雰囲気がよいです。		東洋西洋世界の絵本、イコン性の高いもの
21	女	本学学生	見やすい配置と通路の取り方	聖ペテロと聖パウロ、麒麟 19世紀エチオピア	
67	女	勤労者	イコンの古いものを見る機会がなく大変感動いたしました、ありがとうございます。	大体見えたのですが、照明してはいけないものなのではないでしょうか、少し字が醜いものがありました。救済の聖母子など。	キリスト教に関するものの展示、テーマに沿ったものを見せていただくのを楽しみにしています。
31	男	勤労者	珍しいイコンを直接見る事が出来たから	エチオピアのイコン	キリスト教 世界中の歴史とかを希望
57	男	勤労者	大学博物館共同企画としての展示としては十分ですが、イコンについて詳しく知りたいと思って来た者としては不満があります。右巻にイコンの展示施設がありました。震災でどうなっているか?そこを含めての展示があれば…と思います。		
63	男	勤労者	エチオピア、フィリピン、メキシコなどあまり見られないものが展示されていたこと。		

※—は無回答を示している。

来館団体一覧

期 日	見学時間	団 体 名	人数
4月 4日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	60名
	12:45~13:15	事務局新任職員研修	30名
4月 7日(木)	15:10~16:40	神学部「教会音楽A」講義	12名
4月 8日(金)	10:40~11:10	神学部「教会音楽研究A」講義	5名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	4名
4月11日(月)	9:00~10:30	国際文化学部「学院史」講義	172名
	11:00~12:00	神学部チャペル	44名
4月12日(火)	9:00~12:00	西南学院中学校 新入生オリエンテーション	208名
4月13日(水)	15:00~18:00	チャペルクワイア練習	10名
4月14日(木)	15:10~16:40	神学部「教会音楽A」講義	8名
4月18日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	34名
4月21日(木)	15:10~16:40	神学部「教会音楽A」講義	7名
4月22日(金)	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	3名
	12:30~14:30	事務局新任職員研修	7名
4月23日(土)	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	4名
	11:00~12:30	博多学見学会	46名
4月25日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	31名
4月28日(木)	14:00~14:30	早稲高等学校	50名
	15:10~16:40	神学部「教会音楽A」講義	7名
4月29日(金)	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	3名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	4名
5月 2日(月)	11:00~12:30	神学部チャペル	31名
	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	3名
5月 6日(金)	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	5名
	11:00~12:00	神学部チャペル	48名
5月 9日(月)	13:30~14:00	NHKカルチャースクール	8名
	13:30~14:00	東筑紫学園高等学校	33名
5月11日(水)	13:00~14:30	筑紫野二日市キリスト教会	11名
5月16日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	36名
	10:00~10:30	西南学院小学校	68名
5月18日(水)	15:00~18:00	チャペルクワイア練習	10名
	15:10~16:40	神学部「教会音楽A」講義	7名
5月20日(金)	10:00~10:30	福岡・デンマーク友好協会	4名
	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	5名
	11:00~12:00	西南学院小学校	74名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	5名
5月23日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	38名
	11:00~12:00	TVクルー	4名
5月25日(水)	15:00~18:00	チャペルクワイア練習	10名
	15:10~16:40	神学部「教会音楽A」講義	8名
5月27日(金)	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	6名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	6名
5月28日(土)	10:00~11:00	筑紫女学院大学	51名
	11:00~12:00	神学部チャペル	34名
5月30日(月)	11:00~11:30	韓国人観光客	11名
	15:00~18:00	チャペルクワイア練習	10名
6月 1日(水)	15:10~16:40	神学部「教会音楽A」講義	6名
6月 2日(木)	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	6名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	6名
6月 4日(土)	12:00~17:00	福岡・デンマーク友好協会・ ビューアハートチャリティーコンサート	150名
6月 5日(日)	14:30~15:30	日本ミュージアム・マネージメント学会 アフタヌーンミュージアム	46名
6月 6日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	39名
6月 7日(火)	13:40~16:10	法学部「専門演習Ⅱ」講義	12名
6月 8日(水)	15:00~17:30	チャペルクワイア練習	8名
	14:00~14:30	西南学院小学校2年生	9名
6月 9日(木)	15:10~16:40	神学部「教会音楽A」講義	4名
	15:30~16:00	学内研修	8名
	17:00~17:40	国際文化学部「博物館学」講義	31名
6月13日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	35名
6月14日(火)	11:00~12:00	香住丘キリスト福音教会	10名
6月15日(水)	15:00~18:00	チャペルクワイア練習	9名
6月16日(木)	11:30~12:00	国際文化学部「キリスト教学」講義	32名
	15:30~16:00	福岡県立筑前高等学校	100名
	15:10~16:40	神学部「教会音楽A」講義	5名
6月17日(金)	9:30~10:30	国際文化学部「キリスト教学」講義	45名
	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	5名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	4名
6月18日(土)	16:30~21:00	福岡パッハコレギウムコンサート リハーサル	30名
	14:00~16:00	特別展開連公開講演会	76名
6月19日(日)	16:30~21:00	福岡パッハコレギウムコンサート リハーサル	20名
	13:30~19:00	福岡パッハコレギウムコンサート	252名

期 日	見学時間	団 体 名	人数
6月20日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	38名
	14:00~14:30	筑紫台高等学校	40名
6月22日(水)	9:30~10:30	国際文化学部「キリスト教学」講義	54名
	11:10~12:40	国際文化学部「アメリカ思想文化論A」 講義	156名
6月23日(木)	16:00~16:30	興杆神社	7名
	15:10~16:40	神学部「教会音楽A」講義	5名
6月24日(金)	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	5名
	11:20~12:00	福岡県立糸島高等学校保護者会	27名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	4名
6月25日(土)	15:10~16:30	福岡県立福岡講倫館高等学校	160名
	10:00~12:00	せいなんこどもワークショップ	54名
6月27日(月)	10:40~12:15	神学部ロングチャペル	43名
	10:40~11:00	福岡県立福岡魁誠高等学校PTA	40名
6月28日(火)	15:30~16:00	留学生別科夏季日本語研修生	29名
	16:10~16:40	国際文化学部「日本近代社会論A」講義	22名
7月 1日(金)	9:45~10:30	国際文化学部宮崎克則教授ゼミ	30名
	10:30~11:00	福岡県立三潴高等学校	24名
	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	4名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	4名
7月 2日(土)	9:00~12:15	国際文化学部「キリスト教学」補講	39名
7月 4日(月)	10:40~12:00	神学部チャペル	34名
7月 5日(火)	15:30~16:00	山口大学教育学部附属光中学校	17名
	17:30~18:00	ギャラリートーク	14名
7月 6日(水)	11:10~12:40	国際文化学部「キリスト教学」講義	56名
	15:00~18:00	チャペルクワイア練習	8名
7月 7日(木)	17:30~18:00	ギャラリートーク	8名
	15:10~16:40	神学部「教会音楽A」講義	6名
7月 8日(金)	17:30~18:00	ギャラリートーク	6名
	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	3名
	10:50~11:10	福岡国際交流協会	16名
	11:20~12:10	国際文化学部後藤新治教授ゼミ	15名
7月 9日(土)	14:00~15:00	西南学院大学宗教部(韓国の教会)	22名
	14:30~15:00	山口県立下関南高等学校	38名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	4名
	10:30~12:00	神学部「教会音楽A」補講	5名
7月11日(月)	10:30~12:30	神学部チャペル	38名
	11:30~12:00	福岡県立玄界高等学校	68名
7月12日(火)	15:30~16:00	福岡市立福岡西陵高等学校2年生	82名
7月13日(水)	11:10~12:40	経済学部「基礎演習Ⅰ」講義	20名
7月14日(木)	15:10~16:40	神学部「教会音楽A」講義	6名
7月15日(金)	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	4名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	5名
7月21日(木)	10:00~10:30	三井中央高等学校	20名
	15:10~16:40	神学部「教会音楽A」講義	5名
7月22日(金)	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究A」講義	5名
	11:00~11:30	国際文化学部「基礎演習A」講義	12名
	11:30~12:00	宮崎県立宮崎南高等学校保護者	10名
	12:00~13:00	子ども育成会キャンプ	75名
7月25日(月)	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究C」講義	4名
	10:40~12:10	神学部チャペル	39名
7月26日(火)	13:30~14:00	国際文化学部山田順准教授ゼミ	19名
7月28日(木)	13:30~14:00	宮崎県立宮崎大宮高等学校	12名
7月30日(土)	10:00~18:00	オープンキャンパス	163名
7月31日(日)	11:30~17:00	オープンキャンパス	126名
8月 1日(月)	12:00~12:30	歴史教育研究会	32名
	13:40~14:00	久留米信愛女学院高等学校	12名
8月 4日(木)	10:00~10:30	福岡県立柏陵高等学校PTA	4名
	11:30~12:30	韓国人観光客	28名
8月 5日(金)	16:30~16:45	宮崎県立宮崎南高等学校	14名
	11:00~11:15	大分県立大分鶴崎高等学校	15名
8月 6日(土)	15:30~15:45	長崎南山高等学校	24名
	16:40~16:50	純心女子高等学校	42名
8月 9日(火)	12:45~13:15	新約原典研究会	13名
8月18日(木)	13:15~14:45	誠英高等学校	54名
8月20日(土)	14:00~17:00	寺園喜基院長	12名
8月24日(水)	12:30~13:00	留学生別科	41名
8月27日(土)	9:30~12:30	せいなんこどもワークショップ	73名
8月30日(火)	13:00~13:30	西南幼稚園	7名
9月 2日(金)	14:00~14:30	福岡県立福岡魁誠高等学校	42名
9月 6日(火)	13:30~14:00	明光学園中学校・高等学校	82名
9月 8日(木)	13:30~14:00	福岡県立八女高等学校	100名
9月 9日(金)	14:00~14:30	福岡県立福岡高等学校	46名
	14:00~14:30	大分県立中津南高等学校PTA	35名
9月10日(土)	14:00~17:00	寺園喜基院長	12名

期 日	見学時間	団 体 名	人数
9月13日(火)	12:00~12:30	聖学院大学	5名
	14:30~15:00	皇學館大学	11名
9月15日(木)	15:00~14:10	神学部「教会音楽B」講義	6名
	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究B」講義	4名
9月16日(金)	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究D」講義	4名
	9:00~12:15	せいなんこどもワークショップ	43名
9月17日(土)	13:00~16:00	キャンパスサポート西南結婚式	70名
	15:00~18:00	西南学院大学100周年事業室	7名
9月22日(木)	15:10~16:40	神学部「教会音楽B」講義	7名
	15:30~16:00	福岡県立稲葉志耕館高等学校	75名
9月23日(金)	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究B」講義	3名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究D」講義	4名
9月24日(土)	15:30~17:30	古澤先生を囲む会	25名
	10:40~12:10	神学部チャペル	39名
9月30日(金)	10:50~11:20	福岡県立柏陵高等学校PTA	38名
	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究B」講義	3名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究D」講義	4名
10月 1日(土)	13:30~15:30	キャンパスサポート西南結婚式	150名
10月 3日(月)	10:40~12:10	神学部チャペル	43名
	14:30~17:30	聖志会 (西南学院中学校第4回卒業同窓会)	53名
10月 5日(水)	14:30~15:30	修学館高等学校	23名
	15:30~18:00	チャペルクワイア練習	8名
10月 6日(木)	14:00~14:30	福岡県立嘉徳東高等学校	40名
	15:10~16:40	神学部「教会音楽B」講義	7名
10月 7日(金)	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究D」講義	3名
	11:00~12:00	大分県立大分豊府高等学校PTA	50名
	14:30~15:00	鎮西高等学校	90名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究D」講義	4名
10月 8日(土)	9:30~12:30	せいなんこどもワークショップ	83名
	13:00~14:00	ESS OB会	10名
10月10日(月)	10:40~12:10	神学部チャペル	28名
10月12日(水)	11:00~13:00	福岡協会	23名
10月13日(木)	15:10~16:40	神学部「教会音楽B」講義	5名
10月14日(金)	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究B」講義	3名
	14:30~16:10	神学部「教会音楽研究D」講義	5名
10月15日(土)	10:00~13:00	キャンパスサポート西南結婚式	49名
10月17日(月)	10:40~12:10	神学部チャペル	37名
	14:30~15:00	福岡県立玄界高等学校PTA	23名
10月19日(水)	15:00~15:30	福岡県立福岡高等学校PTA	31名
	16:00~16:30	熊本マリスト学園	4名
10月20日(木)	15:30~18:10	チャペルクワイア練習	15名
	15:10~16:40	神学部「教会音楽B」講義	3名
10月21日(金)	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究B」講義	3名
	13:30~14:00	国際文化学部高倉洋彰教授ゼミ	7名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究D」講義	3名
	17:00~18:30	商学部学内GP講演会	155名
10月24日(月)	10:40~12:10	神学部チャペル	38名
10月26日(水)	15:00~18:00	チャペルクワイア練習	15名
10月27日(木)	11:00~11:30	福岡県立武蔵台高等学校	97名
	15:10~16:40	神学部「教会音楽B」	4名
10月28日(金)	10:30~11:30	福岡県立八幡南高等学校	240名
	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究B」講義	3名
	11:30~11:45	龍谷高等学校	50名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究D」講義	3名
11月 2日(水)	15:00~18:00	チャペルクワイア練習	11名
11月 4日(金)	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究B」講義	3名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究D」講義	4名
11月 5日(土)	14:00~16:00	特別展開連公開講演会	33名
11月 9日(水)	11:10~12:40	国際文化学部「アメリカ文化思想」講義	42名
	15:00~18:00	チャペルクワイア練習	15名
11月10日(木)	11:00~11:30	成績優秀者奨学金交付式	64名
11月13日(日)	9:00~12:00	西南学院バプテスト教会礼拝	150名
11月14日(月)	10:40~12:10	神学部チャペル	30名
	9:30~11:10	国際文化学部「キリスト教学」講義	52名
11月16日(水)	13:00~13:30	二日市キリスト教会	9名
	15:30~16:30	熊本マリスト学園高等学校	25名
11月17日(木)	9:00~10:00	国際文化学部「キリスト教学」講義	50名
	14:00~15:00	国際文化学部「キリスト教思想論特殊講義」講義	6名
11月18日(金)	15:10~16:40	神学部「教会音楽B」講義	5名
	9:00~10:00	国際文化学部「キリスト教学」講義	45名
11月24日(木)	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究B」講義	3名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究D」講義	6名
11月24日(木)	15:10~16:40	神学部「教会音楽A」講義	3名
	17:00~18:00	国際文化学部「博物館資料論」講義	30名

期 日	見学時間	団 体 名	人数
11月25日(金)	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究B」講義	3名
	11:15~11:30	福智高等学校	23名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究D」講義	4名
11月26日(土)	16:00~16:30	事務局職員研修ギャラリートーク	2名
	13:00~18:00	九州考古学会	120名
11月27日(日)	11:00~17:00	そよかせ合唱団コンサートリハーサル	25名
11月28日(月)	10:40~12:10	神学部チャペル	31名
11月30日(水)	9:00~10:30	国際文化学部「キリスト教学」講義	42名
12月 1日(木)	9:00~10:30	国際文化学部「キリスト教学」講義	62名
	9:00~10:30	国際文化学部「キリスト教学」講義	54名
12月 2日(金)	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究B」講義	3名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究D」講義	4名
12月 3日(土)	16:00~18:00	西南ブリエール・アララ・コロマドレー	48名
12月 4日(日)	9:00~17:00	そよかせ合唱団コンサート	180名
12月 5日(月)	10:40~12:10	神学部チャペル	32名
	14:30~15:00	長崎県立宇久高等学校	12名
12月 6日(火)	10:30~11:00	福岡県立田川高等学校	34名
	13:00~13:30	福岡県立八女高等学校	48名
12月 7日(水)	15:00~18:00	チャペルクワイア練習	16名
12月 8日(木)	15:10~16:40	神学部「教会音楽B」講義	6名
	8:45~10:30	児童教育学部閉読会	41名
12月 9日(金)	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究D」講義	5名
	9:00~12:00	せいなんこどもワークショップ	57名
12月10日(土)	10:50~11:50	福岡商工会議所町歩き	20名
	13:30~16:30	西南ブリエール・アララ・コロマドレー	150名
12月12日(月)	11:50~12:30	熊本信愛女学院高等学校	41名
12月15日(木)	15:10~16:40	神学部「教会音楽B」講義	4名
12月16日(金)	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究B」講義	3名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究D」講義	5名
12月18日(日)	13:00~18:00	合唱団コロビエーノ	50名
12月19日(月)	10:40~12:10	神学部チャペル	32名
12月20日(火)	13:00~14:00	TVクルー	5名
12月21日(水)	15:00~18:00	チャペルクワイア練習	10名
12月22日(木)	15:10~16:40	神学部「教会音楽B」講義	4名
12月24日(土)	11:00~16:00	キャンパスサポート西南結婚式	40名
12月27日(火)	10:00~12:00	CDジャケット撮影	6名
1月 6日(金)	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究B」講義	3名
	15:00~15:30	留学生別科	11名
1月 7日(土)	15:30~16:00	韓国人観光客	10名
	10:00~14:00	キャンパスサポート西南結婚式	50名
1月12日(木)	15:10~16:40	神学部「教会音楽B」講義	4名
1月13日(金)	16:00~21:00	福岡バッハコレギウムコンサート リハーサル	38名
1月14日(土)	18:00~21:00	福岡バッハコレギウムコンサート リハーサル	39名
1月15日(日)	9:00~12:00	西南バプテスト教会礼拝	163名
	16:00~18:00	福岡バッハコレギウムコンサート	270名
1月16日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	33名
	17:00~17:10	シンガポール青年団	13名
1月17日(火)	13:00~13:30	福岡県立朝倉高等学校・ 中国大連第五中学校	8名
1月19日(木)	15:10~16:40	神学部青野詔子非常勤講師最終講義	25名
1月20日(金)	10:40~12:10	神学部「教会音楽研究B」講義	3名
	14:40~16:10	神学部「教会音楽研究D」講義	8名
1月23日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	59名
1月28日(土)	15:00~17:00	キャンパスサポート西南結婚式	136名
1月30日(月)	10:45~11:00	韓国釜慶大学学生	22名
1月31日(火)	13:30~13:50	熊本愛泉教会	4名
2月 4日(土)	10:00~13:30	キャンパスサポート西南結婚式	50名
2月 5日(日)	9:00~12:00	西南学院バプテスト教会主日礼拝	150名
2月15日(水)	16:40~17:10	在日大韓福岡教会	6名
	13:30~15:00	神学部小林洋一教授最終講義	170名
2月23日(木)	10:00~10:15	C.C.C.(韓国)	10名
	12:00~12:40	haeoreum church(韓国)	4名
	13:50~14:10	C.C.C.(韓国)	10名
	16:00~16:45	haeoreum church(韓国)	22名
3月 3日(土)	9:00~12:00	せいなんこどもワークショップ	39名
3月 9日(金)	13:00~13:30	西南学院大学国際センター (韓国の大学)	7名
3月22日(木)	13:30~16:00	神学部卒業礼拝	200名
3月26日(月)	11:30~11:40	第一高等学院	40名
3月27日(火)	11:00~11:30	C.C.C.(韓国)	4名
3月28日(水)	11:30~12:30	ポスター撮影	5名
3月30日(金)	11:00~11:30	C.C.C.(韓国)	5名
	11:15~11:30	門司大翔館高校	10名

5. 広報活動

特別展関連紹介

- ・日本経済新聞朝刊（2011年6月7日）「せいなんこどもワークショップ」募集記事
- ・読売新聞朝刊（2011年6月16日）「第9回特別展関連公開講座・船のペーパークラフトを作ろう」
- ・朝日新聞朝刊（2011年6月30日）「海流に魅せられた島 天草 信仰守るため心砕いた跡」記事
- ・読売新聞夕刊（2011年9月30日）「西南大事“展”」記事「学生が回顧展－西南学院100年」
- ・「今日感テレビ」（RKB毎日放送、2011年11月2日）「イコン－東西聖像画の世界」紹介

博物館紹介

- ・「2011年文化・スポーツ・レクレーションガイド たいたいBOOK」（福岡市情報プラザ）
- ・「ぐっ！ジョブ～九州ゲンキ主義経済～」(TVQ、6月25日（土）9時30分～10時)
- ・「福岡市年景観情報雑誌 彩都 No.16」（2011年12月）

関連記事

- ・西日本新聞朝刊（2011年12月6日）「犯科帳第2巻を刊行 長崎奉行所判決記録を解説 西南大博物館学芸員安高さん」
- ・長崎新聞朝刊（2012年1月8日）「『新釈犯科帳』第2巻書評」
- ・西日本新聞朝刊（2012年3月16日）「大学的福博ガイド－西南大教員が執筆 研究者の目で魅力紹介」

2011年度 寄贈・購入図書一覧

著者・編者	書名	発行	発行年	寄贈元
越中哲也	長崎純心大学博物館研究 第18輯 長崎初期キリシタンの一考察	長崎純心大学博物館	2009年	長崎純心大学博物館
長崎純心大学博物館	長崎学研究	長崎純心大学博物館	2009年	長崎純心大学博物館
京都大学大学文書館	京都大学 大学文書館だより 第1号	京都大学大学文書館	2001年	京都大学大学文書館
京都大学大学文書館	京都大学 大学文書館だより 第2号	京都大学大学文書館	2002年	京都大学大学文書館
京都大学大学文書館	京都大学 大学文書館だより 第3号	京都大学大学文書館	2002年	京都大学大学文書館
京都大学大学文書館	京都大学 大学文書館だより 第4号	京都大学大学文書館	2003年	京都大学大学文書館
京都大学大学文書館	京都大学 大学文書館だより 第5号	京都大学大学文書館	2003年	京都大学大学文書館
京都大学大学文書館	京都大学 大学文書館だより 第6号	京都大学大学文書館	2004年	京都大学大学文書館
京都大学大学文書館	京都大学 大学文書館だより 第7号	京都大学大学文書館	2004年	京都大学大学文書館
京都大学大学文書館	京都大学 大学文書館だより 第8号	京都大学大学文書館	2005年	京都大学大学文書館
京都大学大学文書館	京都大学 大学文書館だより 第9号	京都大学大学文書館	2005年	京都大学大学文書館
京都大学大学文書館	京都大学 大学文書館だより 第10号	京都大学大学文書館	2006年	京都大学大学文書館
京都大学大学文書館	京都大学 大学文書館だより 第11号	京都大学大学文書館	2006年	京都大学大学文書館
京都大学大学文書館	京都大学 大学文書館だより 第12号	京都大学大学文書館	2007年	京都大学大学文書館
京都大学大学文書館	京都大学 大学文書館だより 第13号	京都大学大学文書館	2007年	京都大学大学文書館
京都大学大学文書館	京都大学 大学文書館だより 第14号	京都大学大学文書館	2008年	京都大学大学文書館
京都大学大学文書館	京都大学 大学文書館だより 第15号	京都大学大学文書館	2008年	京都大学大学文書館
京都大学大学文書館	京都大学 大学文書館だより 第16号	京都大学大学文書館	2009年	京都大学大学文書館
京都大学大学文書館	京都大学 大学文書館だより 第17号	京都大学大学文書館	2009年	京都大学大学文書館
京都大学大学文書館	京都大学 大学文書館だより 第18号	京都大学大学文書館	2010年	京都大学大学文書館
京都大学大学文書館	京都大学大学文書館研究紀要 第9号	京都大学大学文書館	2011年	京都大学大学文書館
京都大学大学文書館	戦後学生運動関係資料 Ⅲ 解説・目録	京都大学大学文書館	2011年	京都大学大学文書館
京都大学大学文書館	常設展「京都大学の歴史」図録(第二版)	京都大学大学文書館・ 京都大学総務部広報課	2011年	京都大学大学文書館
玉川大学教育博物館	玉川大学教育博物館紀要第8号	玉川大学教育博物館	2011年	玉川大学教育博物館
玉川大学教育博物館	博物館ニュース「SHU」 No.36	玉川大学教育博物館	2011年	玉川大学教育博物館
財団法人鹿児島県文化振興財団 鹿児島県上野原縄文の森	上野原縄文の森だより Vol.20	財団法人鹿児島県文化振興財団 鹿児島県上野原縄文の森	2011年	財団法人鹿児島県文化振興財団 鹿児島県上野原縄文の森
鹿児島大学総合研究博物館	鹿児島大学総合研究博物館 News Letter No.27	鹿児島大学総合研究博物館	2010年	鹿児島大学総合研究博物館
鹿児島大学総合研究博物館	鹿児島大学総合研究博物館 News Letter No.28	鹿児島大学総合研究博物館	2011年	鹿児島大学総合研究博物館
鹿児島大学総合研究博物館	鹿児島大学総合研究博物館年報No.9	鹿児島大学総合研究博物館	2011年	鹿児島大学総合研究博物館
平戸市教育委員会	平戸 一海外に開かれた自由な港市ー シンポジウム報告集	平戸市教育委員会	2011年	平戸市教育委員会
平戸市生月町博物館・島の館	平戸市生月町博物館 島の館だより VOL15	平戸市生月町博物館・島の館	2011年	平戸市生月町博物館・島の館
九州国立博物館	九州国立博物館紀要 東風西声第6号	九州国立博物館	2011年	九州国立博物館
九州国立博物館	九州国立博物館 特別展黄檗 図録	九州国立博物館	2011年	九州国立博物館
九州国立博物館	九州国立博物館 トピック展 日本とタイふたつの国の巧と美 図録	九州国立博物館	2011年	九州国立博物館
福岡市美術館	平成21年度 福岡市美術館活動の記録	福岡市美術館	2011年	福岡市美術館
関西大学博物館	関西大学博物館紀要 第17号	関西大学博物館	2011年	関西大学博物館
関西大学博物館	阡陵 関西大学博物館学課程創設50周年記念特集	関西大学博物館	2011年	関西大学博物館
関西大学博物館	登録有形文化財登録記念 平成23年度関西大学博物館企画展図録 関西大学博物館蔵 本山コレクションの由来	関西大学博物館	2011年	関西大学博物館
関西大学博物館	関西大学博物館蔵 本山彦一蒐集資料目録	関西大学博物館	2010年	関西大学博物館
白石浩之・川合剛	南山大学人類学博物館オープンリサーチセンター 研究報告第2冊 ヨハネス・マリノガー神父と 収集された先史時代の遺物	南山大学人類学博物館	2011年	南山大学人類学博物館
姫路文学館	開館20周年記念特別展 黒田官兵衛の魅力 天下をねらった播磨の智将	姫路文学館	2011年	姫路文学館
全国大学博物館学講座協議会	全博協 研究紀要 第13号	全国大学博物館学講座協議会	2011年	全国大学博物館学講座協議会
全国大学博物館学講座協議会	全博協会報 48 平成22年度全国大会・東西部会報告	全国大学博物館学講座協議会	2011年	全国大学博物館学講座協議会
京都大学大学文書館	京都大学 大学文書館だより	京都大学大学文書館	2011年	京都大学大学文書館
熊本県天草市教育委員会	天草キリシタン館リニューアル記念 展示図録	熊本県天草市教育委員会	2011年	天草市立天草キリシタン館
島根大学ミュージアム	島根大学ミュージアム年報 平成22年度	島根大学ミュージアム	2011年	島根大学ミュージアム
東京大学史料編纂所	東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター通信 第53号	東京大学史料編纂所	2011年	東京大学史料編纂所
関西学院大学博物館開設準備室	関西学院所蔵の絵画Ⅱ Art of the Bibleー祈る聖書の物語ー	関西学院大学博物館開設準備室	2011年	関西学院大学博物館準備室
東京文化財研究所	東京文化財研究所ってどんなところ?	東京文化財研究所	2011年	東京文化財研究所
東京文化財研究所	TOBUNKEN NEWS no.43	東京文化財研究所	2010年	東京文化財研究所
東京文化財研究所	TOBUNKEN NEWS no.44	東京文化財研究所	2011年	東京文化財研究所
東京文化財研究所	TOBUNKEN NEWS DIGEST no.8	東京文化財研究所	2010年	東京文化財研究所
東京文化財研究所	TOBUNKEN NEWS DIGEST no.9	東京文化財研究所	2011年	東京文化財研究所
財団法人 日本博物館協会	博物館研究 vol.46 No.2 通巻512号	財団法人 日本博物館協会	2011年	財団法人 日本博物館協会
財団法人 日本博物館協会	博物館研究 vol.46 No.5 通巻515号	財団法人 日本博物館協会	2011年	財団法人 日本博物館協会
財団法人 日本博物館協会	博物館研究 vol.46 No.6 通巻516号	財団法人 日本博物館協会	2011年	財団法人 日本博物館協会
学習院大学史料館	学習院大学史料館紀要 第17号	学習院大学史料館	2011年	学習院大学史料館
小都市教育委員会	小都市内伝承調査事業報告書	小都市教育委員会	2011年	小都市教育委員会
公益財団法人 徳川記念財団	公益財団法人 徳川記念財団 会報 vol.17	公益財団法人 徳川記念財団	2011年	公益財団法人 徳川記念財団 学芸部
公益財団法人 徳川記念財団	公益財団法人 徳川記念財団 研究ノート第1号	公益財団法人 徳川記念財団	2011年	公益財団法人 徳川記念財団
神戸大学海事科学研究科 海事博物館専門員会	海事博物館研究年報	神戸大学海事科学研究科 海事博物館	2011年	神戸大学海事科学研究科 海事博物館

著者・編者	書名	発行	発行年	寄贈元
神戸大学海事科学研究科 海事博物館専門員会	海事博物館 企画展図録 2010	神戸大学海事科学研究科 海事博物館	2011年	神戸大学海事科学研究科 海事博物館
九州大学総合研究博物館	九州大学総合研究博物館研究報告第9号	九州大学総合研究博物館	2011年	九州大学総合研究博物館
九州大学総合研究博物館	九州大学総合研究博物館概要	九州大学総合研究博物館	2011年	九州大学総合研究博物館
尚古集成館	薩摩とイギリス～海が結んだ絆～	尚古集成館	2011年	尚古集成館
徴古館 (財団法人鶴島報効会)	徴古館報第22号	徴古館 (財団法人鶴島報効会)	2011年	徴古館 (財団法人鶴島報効会)
徴古館 (財団法人鶴島報効会)	佐賀城築城400年記念徴古館第53回展 鶴島直茂・勝茂の時代	徴古館 (財団法人鶴島報効会)	2011年	徴古館 (財団法人鶴島報効会)
同志社大学歴史資料館	岩倉忠在地遺跡Ⅱ 同志社中学校・高校校舎建設に伴う発掘調査報告書	同志社大学歴史資料館	2011年	同志社大学歴史資料館
大分県立歴史博物館	大分県立歴史博物館年報2010	大分県立歴史博物館	2011年	大分県立歴史博物館
大分県立歴史博物館	おおいた歴博No.32	大分県立歴史博物館	2011年	大分県立歴史博物館
K&B/パブリッシャーズ	ぶらっと散歩コース 福岡	昭文社	2011年	K&B/パブリッシャーズ
玉川大学教育博物館	玉川大学教育博物館館報第9号	玉川大学教育博物館	2011年	玉川大学教育博物館
藤田良治・成田佳子 (北海道大学総合博物館)	北海道大学総合博物館ニュース第23号	北海道大学総合博物館	2011年	北海道大学総合博物館
東北福祉大学 芹沢銈介美術工芸館	2010年度東北福祉大学 芹沢銈介美術工芸館 年報2	東北福祉大学 芹沢銈介美術工芸館	2011年	東北福祉大学 芹沢銈介美術工芸館
九州大学総合研究博物館	九州大学総合研究博物館ニュース 第29回特別展 偉人たちの風貌 —おおいの肖像—	九州大学総合研究博物館	2011年	九州大学総合研究博物館
大分市歴史資料館	大分市歴史資料館ニュースvol.96	大分市歴史資料館	2010年	大分市歴史資料館
大分市歴史資料館	大分市歴史資料館ニュースvol.95	大分市歴史資料館	2011年	大分市歴史資料館
大分市歴史資料館	大分市歴史資料館ニュースvol.94	大分市歴史資料館	2011年	大分市歴史資料館
大分市歴史資料館	大分市歴史資料館ニュースvol.93	大分市歴史資料館	2011年	大分市歴史資料館
大分市歴史資料館	大分市歴史資料館ニュースvol.92	大分市歴史資料館	2011年	大分市歴史資料館
大分市歴史資料館	大分市歴史資料館ニュースvol.91	大分市歴史資料館	2010年	大分市歴史資料館
大分市歴史資料館	大分市歴史資料館ニュースvol.90	大分市歴史資料館	2010年	大分市歴史資料館
大分市歴史資料館	大分市歴史資料館ニュースvol.89	大分市歴史資料館	2009年	大分市歴史資料館
玉川大学教育博物館	ミュージアム・コレクション展2011	玉川大学教育博物館	2011年	玉川大学教育博物館
財団法人鹿児島県文化振興財団 鹿児島県上野原縄文の森	上野原縄文の森だより vol.21	財団法人鹿児島県文化振興財団 鹿児島県上野原縄文の森	2011年	財団法人鹿児島県文化振興財団 鹿児島県上野原縄文の森
九州国立博物館	特別展図録 草原の王朝 契丹 美しき3人のプリンセス	西日本新聞社	2011年	九州国立博物館
九州国立博物館	トピック展示図録 館蔵水墨画名品展	九州国立博物館	2011年	九州国立博物館
図書館報編集委員会	図書館報No.171	西南学院大学図書館	2011年	西南学院大学図書館
企画情報部	東京文化財研究所年報2010	東京文化財研究所	2011年	東京文化財研究所
企画情報部	TOBUNKENNEWS no.46	東京文化財研究所	2011年	東京文化財研究所
Department of Art Research ,Archives,and Information Systems	TOBUNKENNEWS DIGEST no.10	National Research Institute for Cultural Properties,Tokyo	2011年	東京文化財研究所
東京文化財研究所	東京文化財研究所概要2011	東京文化財研究所	2011年	東京文化財研究所
関西学院大学博物館 開設準備室	戦後演劇の世界 大阪労演とその時代Ⅰ	関西学院大学博物館 開設準備室	2011年	関西学院大学博物館 開設準備室
八代市立博物館 未来の森ミュージアム	平成二三年度秋季特別展覧会 八代の歴史と文化21 大妙見祭展 ～華ひらく祭礼風流～	八代市立博物館 未来の森ミュージアム	2011年	八代市立博物館 未来の森ミュージアム
九州産業大学美術館	刷師「岡部徳三」と版画工房の仕事	九州産業大学美術館	2011年	九州産業大学美術館
玉川大学教育博物館	博物館ニュース「SHU」No.37	玉川大学教育博物館	2011年	玉川大学教育博物館
京都大学文学書館	京都大学文学書館だより 第21号	京都大学文学書館	2011年	京都大学文学書館
関西大学博物館	関西大学博物館展示図録	関西大学博物館	2011年	関西大学博物館
國學院大學研究開発推進機構 伝統文化リサーチセンター	まつりの継承 一季節のまつりとその担い手一	國學院大學研究開発推進機構 伝統文化リサーチセンター	2011年	國學院大學研究開発推進機構 伝統文化リサーチセンター
大分県立先哲史料館	史料館研究紀要 第16号	大分県立先哲史料館	2011年	大分県立先哲史料館
文化環境研究所	カルチベイト第38号	文化環境研究所	2011年	文化環境研究所
同志社大学歴史資料館	同志社大学歴史資料館館報第14号	同志社大学歴史資料館	2011年	同志社大学歴史資料館
芦屋町教育委員会	芦屋歴史の里特別展 昭和展 芦屋の昭和ハンドブック	芦屋町教育委員会	2012年	芦屋町教育委員会
関西大学博物館	肝陵 No.63	関西大学博物館	2011年	関西大学博物館
全日本博物館学会	博物館学雑誌第37巻第1号	全日本博物館学会	2011年	全日本博物館学会
思文閣出版古書部	思文閣古書資料目録 第226号	思文閣出版古書部	2012年	思文閣出版古書部
東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター	東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター通信 第56号	東京大学史料編纂所	2012年	東京大学史料編纂所
山口県秋市	秋市福栄地域における 隠れキリシタン調査事業報告書	山口県秋市	2011年	安高啓明
京都・大学ミュージアム 連携実行委員会	京都・大学ミュージアム連携シンポジウム 「いま、大学ミュージアムに求められるもの」	京都・大学ミュージアム 連携実行委員会	2012年	京都・大学ミュージアム 連携実行委員会
長崎近世文書研究会	長崎史料叢書	長崎近世文書研究会	2012年	長崎近世文書研究会
岡山市デジタルミュージアム	「菓子木型一和のかたち」展関連図録	岡山市デジタルミュージアム	2012年	岡山市デジタルミュージアム
西南学院大学国際文化学部 高倉洋彰/宮崎克則編	大学的福岡・博多ガイドーこだわりの歩き方	西南学院大学国際文化学部	2012年	西南学院大学国際文化学部 高倉洋彰
全日本博物館学会事務局	学会ニュースNo. 99	全日本博物館学会	2012年	全日本博物館学会
平戸市生月町博物館・島の館	平戸市生月町博物館 島の館だより VOL16	平戸市生月町博物館・島の館	2012年	平戸市生月町博物館・島の館
学習院大学史料館	ミュージアム・レター 第18号	学習院大学史料館	2012年	学習院大学史料館
青木豊	国学院大学博物館学紀要第36輯	國學院大學博物館学研究室	2012年	國學院大學博物館学研究室
國學院大學博物館学研究室	國學院大學院友学芸員5号	國學院大學博物館学研究室	2012年	國學院大學博物館学研究室
京都大学文学書館	京都大学文学書館研究紀要 第10号	京都大学文学書館	2012年	京都大学文学書館

西南学院大学博物館職員

本学博物館の運営にあたり、下記の組織をおく。

博物館管理運営委員会（西南学院大学博物館管理運営規則第14条～15条）

（博物館管理運営委員会）

第12条 博物館の運営に関する事項を協議する機関として博物館管理運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

第13条 委員会は、委員長1名、委員5名をもって構成する。

第14条 委員長は、館長が兼任するものとする。

第15条 委員は、次に掲げる者とする。

- (1) 博物館学芸員課程主任
- (2) 神学部長
- (3) 大学事務長
- (4) 博物館事務室責任者
- (5) 博物館専門的職員（学芸員）

第16条 委員の任期は、各委員の役職在任期間とする。

第17条 委員長が必要と認めた場合は、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができるものとする。

第18条 委員会は、委員長がこれを招集して、その議長となる。ただし、委員長が欠けたとき又は委員長に事故があるときは、委員の互選によって議長を決定する。

委員長 高倉 洋彰（博物館長）

委員 宮崎 克則（博物館学芸員課程主任 本学国際文化学部教授）

片山 寛（神学部長 本学神学部教授）

高木 幸二（大学事務長）

安高 啓明（博物館専門的職員（学芸員） 博物館学芸員）

伊藤 厚（博物館事務室責任者・参事 事務局嘱託職員）

博物館協議会（西南学院大学博物館協議会規則第3条）

（委員）

第3条 協議会は、次に掲げる委員6名をもって構成する。

- (1) 学芸員資格をもつ大学教員1名
- (2) 大学教員1名
- (3) 本部・大学事務職員1名
- (4) 学外の博物館関係者3名

第4条 前条に掲げる協議会の委員は、館長が指名する。

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

後藤 新治（学芸員資格をもつ大学教員 本学国際文化学部教授）

宮崎 克則（大学教員 本学国際文化学部教授）

高木 幸二（本部・大学事務職員 本学大学事務長）

石田 美孝（学外の博物館関係者 九州女子高等学校校長）

有馬 学（学外博物館関係者 福岡市博物館館長）

三輪 嘉六（学外博物館関係者 九州国立博物館館長）

（2012年7月現在）

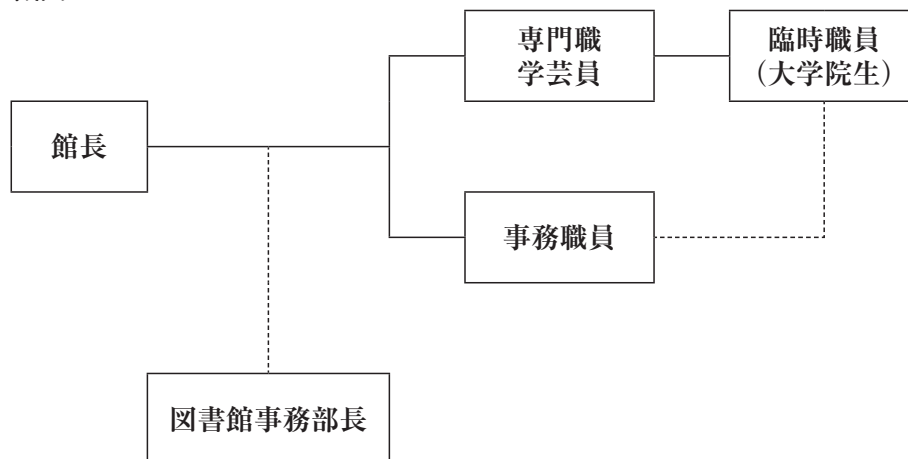
大学博物館

- 館長 高倉 洋彰（兼任、国際文化学部教授）
 専門：日本考古学、博物館学
 主として出土考古資料を通じてみる日本と中国・朝鮮の交流史
- 学芸員 安高 啓明（専任）
 専門：日本近世史、法制史
 江戸幕府司法制度と幕府法、禁教の研究

博物館事務室

- 職員 伊藤 邦厚（2012年4月1日着任）
- 臨時職員 貞清 世里（本学国際文化研究科博士後期課程）
 中尾 祐太（本学国際文化研究科博士後期課程）
 平川 知佳（本学国際文化研究科博士後期課程）
 高橋 幸作（本学国際文化研究科博士後期課程）
 稲益あゆみ（本学国際文化研究科博士前期課程）
 吉松 由希（本学国際文化研究科博士前期課程）
 阿比留由佳（本学国際文化研究科研究生）

大学博物館組織図



(2012年8月現在)

西南学院大学博物館年報 第4号

2011

発行日 2012年9月30日

編集発行 西南学院大学博物館
〒814-8511 福岡市早良区西新3-13-1
TEL(092)823-4785 FAX(092)823-4786

印刷 株式会社インテックス福岡
〒812-0892 福岡市博多区東那珂1-15-1
TEL(092)477-7002 FAX(092)477-7003

 西南学院大学